第三千九百四十二號 (一)　大正七年八月十三日　KEIJO NIPPO

京城日報

本紙定價 一部參錢 壹ヶ月七拾五錢
發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介 發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

八月十二日夕刊（朝夕併せて八頁）

◇獨逸平和熱熾烈 平和要求の訴狀手廣く配附さる

紐育タン紙に達したる海牙特電に曰くケルン市に於ける談論は獨逸都市にて特切の姿なるが就中カトリック教徒の間に於て然り多數の住民は近來頗る悲觀的傾向に陷り獨軍大部隊のマルヌ退却は人心を阻喪せしむる事甚大なり來年一月中に戰爭は終局を告ぐる事につきて巨額の賭行はれ居れり目下ケルンその他の都市に於て幾多の秘密集會行はれつゝあり又議會に提出するの目的を以て多數の平和要求の訴狀頗る手廣く差し廻されつゝあり既に多數の男女によりて署名せられたり而して平和論なるもの斯の如く時局の變轉に從ひ次第に帝國議會議員その他に地歩を鞏固にしつゝありと（紐育倫敦）

◇獨軍勝の夢醒む

英國首相は下院に於て最も痛烈なる注意を喚起したる演説を試みたるがその內獨逸同盟國の陷りつゝある恐慌に關せる興味深き一節あり曰く墺國軍は既にピヤブエ大敗走のため落膽し獨軍常勝の迷夢より覺醒しつゝあり初め獨軍は來週必ず決定的勝利を得べきを墺國民に告ぐる所あり墺國民はこれを信じて彼等は時局を模索しつゝありし講和の探りを引込めたり（倫敦電報）

◇高山中將著任

滿洲獨立守備隊司令官高山中將は十日午後九時五十分著任守備隊騎兵聯隊在鄕軍人會員日支官民等多數の出迎へありたり尚同列車にて同守備隊第一大隊長須賀中佐著任せり因に儀仗兵堵列兵は晬節謝絶せりと（公主嶺特電）

◎獨逸道義廢頽 竊盜事件激增

▲鐵道從業員 獨逸の新狀に關しては屢々報道する處ありたるが最近某筋に達したる報告に據れば其の筋道の內情益々頽然たるものあり即ち六月中普魯西鐵道大臣の發表したる處によれば鐵道從業員の竊盜事件は近年著しく增加し之が爲めに支拂ひたる政府の損害賠償額は左の如き數字を示せり

一九一四年 四百七十萬馬克
一九一六年 千七百八十萬馬克
一九一七年 五千七百萬馬克

而して是等犯人は戰線に赴く兵士若くは病院に到る患者の金品をさへも竊盜するに至れり

▲郵便局員 又郵便局員にして郵便物を竊取する者も激增し其の處刑せられたる員數左の如し

一九一六年 七百七十六人
一九一七年 千七百二十七人

之が爲め昨年中政府の支拂たる損害賠償額は三百五十萬馬克に上れり戰前獨逸の郵便事業が模範的に行はれ來りし事實と對照せば其の變化の甚だしき驚くに堪へたり

▲盜難保險 尚ほ保險關係より見るも同一の事實を語れりフランクフルトの一般保險報告によれば強竊盜破壞等に依る盜難保險金は左の如き數字を示せり

一九一四年 八十七萬七千馬克
一九一六年 百一萬馬克
一九一七年 二百十二萬馬克
本年一二三月 百萬馬克

火災保險金も同じく增加し一九一七年は其前年に比して一億馬克を增加せり消防夫の不足等與つて其の一因を爲せるならんも其他特別器械盜殊に幼年者の犯罪頗に激增し議會にても之が善後に就き討究する處あり議員自らも一般道義心の廢頽には驚きたる程なりと（東京）

◎內地米價瓦落の兆 もう此處らが絕頂、遲くも本月末迄

近頃の期米も正米も怎う見ても亂調子である、併し高相場も既う此處らが頂上であらう、九日には兵庫の正米が五圓方の崩落を示してゐるではないか、某米穀商は『實米も段々出廻つて來る併し米價を吊上げたのは一つは世間の人氣で、傍がワイ〳〵騷げば自然期米の人氣が立つ』と云ふ、一方斯の高値に對する政府の態度も頗る樂觀的で市場の觀察と同じく十日間遲くも今月末までには大瓦落が來る、其自然の大鐵槌の下されるを俟ちつゝ一方人心の動搖を鎭める――とある現に九日午後深川市場の關係者

▲米價と當局 昂騰抑壓方針決定か

米價騰貴の抑壓手段に就て當局の施設方針に就ては未だ發表の自由を有せざれど方針は既に決定を告げたるやにて其方法も內地に於ける農商務省の手段の失敗に鑑み根本的徹底手段に出づ可きは最早疑ひなく之に就て內地より買付の爲め渡來せる商人は鮮米に對しては手を觸るゝを得ざるやも知る可らず移出は嚴に制限せらるゝに至る可し一方今回の仲小路農相の大決心に依る內地米價格制限令に對しても當局は深く期する處ありと云へば近く米界の一變調は免る可らざる處なり

農務局長は曰く『米の縣外輸出を禁ずるなどゝ封建時代ぢやあるまいし、其麼𥝱は無い、在る處にはドッサリ在るから夫を有無融通すれば良い、だから運輸に就ても鐵道院と交渉を重ね遺漏なく斡旋する事になつて居る、もう暫くだから安心して米價の下るのを俟ち、其時ドッサと買つた方が得策であらう』と（東京）

を招いて仲小路農相が諄々と說いたのも右の方針を傳へんが爲であつた右につき農相は語る『理由の無い高相場が何時まで續くものか近頃の亂調子は大瓦落を眼前に控へた前觸れに過ぎ無い、既に暫くだ、實米は澤山あるのだから國民は氣を落着けて自然の相場に戻る時を俟たれ度い』と何等か確信あるもの、如くキッパリと言放つ、（道家）

▲貯米者に警告を與へよ 米價調節の方策如何 ―某銀行家談―

米價は稍頭間への氣味もあるが狂騰又狂騰で豫想外の相場を現はした、然し乍らその調節如何と云ふに尚ほ今後共昂騰せんか國家の力を以て

▲米價の制限 を附するも一策であらうがコレは非常の重大問題であるから俄に斷行も出來ないであらう、然し內地並に朝鮮に於ける在米數量を調査しコレを一般に公表して出穀季までの喰ひ繫ぎ可能なる事を數字に於て示すは此際最も必要の事であらう又京城では田舍に閉ひ米を多量に貯藏し米高を日々に喜んでゐる地主階級が大分ゐる之等の持米を合せた數量は決して少くない少しく過激かも知れぬが當局より相當の方法にて此の輩に

▲警告を下す 事は必要ではないか又地方に實米があるのを京城や平壤の如き消費地に送らうとしても輸送機關が敏活でなく滯貨勝ちだと云ふ例も少くない之等は鐵道當局の奮勵を求めたい、又銀行業者はかう米價が急騰しては反動來を警戒せねばならぬから米に對する貸出しを緊縮する事も怠つてはなるまいと思ふ尚ほ鮮人地主筋の貯米者は高く高くと覘つてゐるのであるから若し此際安くなる樣な雲行きでも見ねたら一時に何れも賣り出し出廻り激增ドカ落ちを見るかも知れぬと思ふ

▲銀行の警戒を促す 米價の奔騰は銀行にも責めあり

最近朝鮮に於ける米高は斷じて需給關係より來る自然の相場に非ず正しく

▲人爲相場 人氣相場と云ふべく地方に鮮人資產階級の閉ひ米少からざる事は屢報の如きが此の狀勢の誘致は內地高廻米缺乏之等素より重大の原因となり居れど銀行の米穀に對する貸出が稍放漫なりと認めらるゝ點も與つて力あるに似たり素より銀行も金融業者として米に對する貸出しを絕對に峻拒しその金融を杜絕せしむべしと云ふにあらず然も京城に於ける鮮人側銀行たる某々銀行並に內地人側の某々銀行の如き

▲中央地方 を通じ米價の昂騰する毎にその擔保評價率を緊張せしめ多々益々金融の便を圖りつゝあるものあり中には某鮮人銀行の如き數日前の時價の八掛以上を貸附け居れるありこれ鮮人思惑者流に翼を與へて愈々その買附け熱を煽りつゝあるものなりと云ふべく米價急騰然もその反動の近く到らんとする狀勢のほの見ゆる際銀行の方策としても甚だ危險なりと曰はざるべからず吾人は各銀行がかゝる際步調を一致し自然の相場に際し時價の七掛けを以て

▲金融の便 を附し居れりとすればかゝる際は四掛け若くは五掛け位の警戒を加へん事を求む、然すれば思惑者流の熱狂を鎭靜反省せしむるに於て奇効を奏すべく米價調節上有力ならん尤も某大銀行にては此見地より米の貸出しを大に警戒しつゝある模樣なるが此點に就ては當局者の手心を銀行に加ふる事も亦一策たるべし（某氏談）

◈名實整へる支那の女子教育 湯原東京女高師校長談

東京女子高等師範學校湯原校長は二十日に其の旅行を了へ歸京せるが引率者たる同校教諭潤元一氏は途中一行と別れ引續き視察をなし十日歸京せるが其の談に曰く

先月十二日東京出發以來今日にて約一箇月となれるが最初青島より視察し濟南、曲阜、泰山、天津、北京、奉天と巡遊せるが予の尤も感じたることは支那がその外觀實質に於て普く歐洲化せることにてその變化の激しきに一驚を喫せり予は十六年前支那に遊びたることあるがその當時と今日と比較せば瞬目の風物一變せる感あり殊に天津の變化は尤も甚だしく以前に變らざるものは白河の流れのみにて他は市街と云はず建築道路と云はず

▲總てが文明の 歐洲風となれるを見る毎に物質的方面のみならず精神思想上に於ても歐洲化して民本主義を以て教育の骨子とし天下は天下の天下也などいふ觀念民心を支配し居るは明かに知り得らるゝ所なりとす支那における教育は中央に紛紜絕えざる爲め如何あらんと思ひしが實際につき見るに教育界は中央と何等の關係なく各省に於て獨立し着々發達して居れるを見たり各省に就ても何れが尤も教育が發達し居るかは細部に亘り充分調査せざれば直ちに斷定し得ざるも先づ直隷省が最たるものならんと思はる女子師範の制度は大部分我國の制度に倣ひたるものにて教授の科目

▲教室の按排等 日本のものと大差なしその著しく相違せる點は寄宿舍の設備にて一舍室四名を收容しその舍室毎に湯殿の浴槽を設けて入浴せしめ居ることなり之は風習上支那人が混浴を厭ふ爲めなりとせるものにして我々の目より見れば幾分贅澤過ぎたる觀あり學科に於ては分科組織が日本より發達しこの點は大いに見上げたり一般女子は習字に堪能にして文章に妙を得手藝なども天才的手腕を有せり支那婦人の字は誠に美的にしてこの字を以て文を綴り堂々たる漢作文を作る遂に師範に於ても予の者にて余は其作文二三を持歸りたるが中に家庭實驗記と云ふ作文あるが實に名文章にて女子の作り者としては

▲餘りに巧妙に 過ぎたる程なり文章に次いでは裁縫等中々巧にしてミシンを使用し簡單なる縫ひ方にて衣物を仕上げるなど日本の裁縫と大いに變り居り實用的なるものと感じたり我女子高等師範卒業生にして今日支那に教鞭を取りつゝあるは北京にある安藤夫人一名なるが今後は幾分增加すべく大連青島等に於ても現在女子師範卒業生にて就職し居るは數名を數ふるに過ぎざるも今回の旅行にて大連青島の狀況もよく分り先方にても卒業生を歡迎する狀態なるを以て女子高等師範卒業生は今後植民地に職を求むるもの續出すべしと思ふ要するに今回の旅行は

▲生徒に生きた 學問をなさしめたるものにして從來の退嬰主義を進取的たらしめ海外發展の動機を與へたるに於て至大なる效果ありたり（門司）

◎福原中將 車中談

滿洲獨立守備隊司令官福原鐐太郎中將は十日午後七時二十五分南大門驛通過內地に向ひたるが途中迎出へたる記者に對し左の如く語る

余は一昨年の末獨立守備隊司令官として公主嶺に赴任せるが同地には目下內地人々口約一千あり余の率ゐる獨立守備隊は去年の末隊後備兵より現役兵に其の組織を改められ中佐を以て其の大隊長と爲せり先づ小なる

▲聯隊六個を 以て鐵道沿線の守備に任ぜるものと見ば差支なからん兵士は滿鐵沿線の各地方に分遣せられ居れるが普通の軍事教育以外鐵道に關する教育を爲し居れるを以て兵士自身も甚だしく多忙を極め居れり從つて比較的成績の優良なるものを援擢して其の任に當らしめ居れり由來滿鐵沿線地方は概ね農地にして在住民も亦多く農業に從事し居れるが奧地に入るも不毛の地なきが如し余は未だ外蒙古を知らざるも內蒙古は

▲其の產業 必ず發展すべきを信ず目下現在に於ける邦人は總て一攫千金主義のものゝみ多く五箇年十箇年の繼續事業として此等的の長期の投資を爲すもの少きが如し斯くては大なる事業勃興する理由なく何等產業上得る所なかるべし余は長期の投資を俟ちて始めて大なる開發を蒙古地方に見むとするものなり殊に滿蒙地方は農產に富み居るを以て斯くの如き地方の開發を爲すべき必要あり尚吉會線鐵道の敷設も近き將來に於て

▲必ず實現 さるべく要するに滿蒙龍井村間島方面は益々密接なる關係を結ぶに至るや言ふ迄もなし滿洲には名物の馬賊あり數年以前迄は手を以て數へ農民富豪の金品を强奪せるが近時に及びては其大集團と目すべきものにても辛うじて百名を算するに過ぎず彼等は各々武器彈藥を有し富豪人其他の金品財產を掠奪する外に武器を占領せんとしつゝあり彼等は往時に於る俠客の如く親分乾兒の關係甚だ密接にして親分たるもの戰死すれば乾兒は必ず親分の顏面を燒きて逃亡す蓋し

▲親分の名を 世に知らしめざらんと努むると同時に親分の名より探査せらるゝ彼等自身の立場を安全ならしめんが爲より而も彼等は何等教練なき烏合の衆にして日本兵の姿を望見すれば必ず逃亡す、チエック、セミヨノフの旗色振はざる如くなるが彼等も亦訓練なき烏合の衆にして鬼ごつこを爲せるか戰爭をなせるか殆ど判別に苦しむ即ち一度不利と見れば全軍潰亡の破目に陷る類ならんやも知れず帝國の西伯利亞出兵は秘密に屬し余等非戰鬪員の關知するところに非ず各地に散在せる

▲過激派を掃蕩 して以

◎德洞新築田起工

平南龍岡郡大代面德洞里の總督府專賣局所屬新塩田築所經營に係る德洞新塩田工事及び官舍新築工事は塩田廿六萬圓、官舍一萬六千四百八十六圓にて鎭南浦五島某請負ひ已に起工されたるが塩田面積は百八町歩にして工事の主なるものは外廓堤防二千九百六間貯水池堤防二千百十四間潮流防築堤及び潛止三箇所開閉二箇所排水伏樋七箇所內部粗工事三十二萬四千坪にして是が竣工期は來る八年九月四日迄の見込なり尙官舍は附屬建物を合して十八棟にして是が竣工期は十一月十三日なりと

◎全鮮商議聯合會

既報の如く全鮮商業會議所聯合會は來る九月十九日より京城商業會議所に於て開會し終つて鮮滿聯合會議を大連商業會議所に開催の筈なるが右に對する鮮內各會議所の提案は本月末迄に到達の筈なりと

◎陸地棉生育良好

各郡島より全南道への報告を綜合すれば陸地棉の作柄は土用後の順氣にて生育頗る好く農家も適當の肥料を施したるを以て昨今の狀態なれば反當二十斤以上の收穫を得べく其の開花は孰れも例年より一週間內外早きより開絮後降霜の被害を蒙る憂ひも少なきは勿論にて近年稀なる作柄を見るならん（木浦）

◎京畿講演會盛況

京畿講演會は豫定の通り十一日午前十時京畿道廳會議室に於て技術官其他の講話者約百七十名に達し道長官不在に就き村第二部長閉會の辭を述べ官原農業試驗所長の『蠶業經營方法』等に關する講演に次いで十時農商工部技師の『蠶業の將來に就て』荒木京都高等蠶業學校教授の『蠶の品種改良』其他の講演あり何れも有益にして興味あり一同熱心に傾聽し午後二時半散會せり

◎軍司令官巡視

軍司令官宇都宮太郎中將は十三日午前軍司令部々內を巡視す可しと

▣餞して曰く 六日夜、扶桑加藤木社長送別の雅宴を星ヶ岡茶寮に開く、集まるもの桐華學會同人其他數十、盛興更闌けて盡きず、席上の餞に曰く。

送加藤扶桑赴朝鮮　黑田鹿水
扶桑文雅甲扶桑。筒里吏綠篋子鄕。八道瑟君應陶化。何傷分袂別離長。

○　加茂百樹
かの國は またたゝよへり まつろをや 筆をぬほこに 執りて言むけなせ

◎鮮銀券新記錄 昨年末の最高發行高を突破す

朝鮮銀行券の八月十日に於ける發行高は六千八百七十八萬圓を示しこれを三日の六千五百五十七萬圓に比すれば三百廿萬圓を增し更に之れを前年の最高發行高たる六千八百十一萬圓に比するも尙ほ六十七萬圓の膨脹にして目先尙ほ伸張の狀勢を示し鮮銀發行高の新記錄を示せり右は物價騰貴に伴ふ鮮內各店の貸出增加を主とし更に銀行券流通區域の擴大乃ちハルビンの如き吉林青島龍井村方面の著しき進出並に輸送難による滯貨貸出固定等を擧ぐべく又朝鮮の銀行に於て米に貸附をなし該荷主がその貸米を內地に移出しても尙ほ處分を急がざればその貸出の回收出來ず發券は依然たる等の事情あり要するに一般財界の膨脹は通貨の膨脹を餘儀なくし居れりと

□電報延著

東京方面よりの電報は引續き頗る延著にて大部分本紙締切り迄に著せず以後著の分は明朝刊に揭ぐべし

人事消息

▲大野香川縣理事官 十二日朝平壤へ▲伊藤遞信局長令息 伊藤遞信局海事課長令息定敬氏（二五）は七月日本醫科醫學專門學校を優等にて卒業同校より米國留學を命ぜられしに付來る十五日京城發二十四日橫濱發のコレア丸に搭乘メーリーランド州立大學に留學する由

茶前酒後

◆米は依然として高し、釜山市の如き京城は、內地より見ても、最早人爲的作用に於ける暴騰は、なりと分明す、而して此の突拍子もなき建相場が、全朝鮮に大々的波動を與へしや、論を俟たず。

◆元來釜山は、內地米價の中心點たるの觀あり、從つて相場の高低を左右するの標準となる、故に阪神地方の買註文は連日殺到し、現釜山白米相場に於て、五十二錢見當に相當せば、何時にても買取るべしとの註文也。

◆斯る有樣なるが故に、釜山の商人としては、見す見す他地方の商人に、暴利を貪らるゝよりも、自ら進んで之が買占をなし、一擧に巨利を博せんとす。之をしも何等人爲的相場に非ずとせんや。

◆茲に一萬石を有する者ありとせんか、之を放賣せんとするや、更に一千石を高値に買入れ、煽りに煽り上げ機を見て以て其持米一萬石を一擧に賣り放つ也。而も其が一回二回に止まらざれば、市場は忽ち混亂攪亂を生ずるに至るべし。而して此の奸策は、釜山に於て現在行はれつゝ、あるに非ずや。

◆吾人は唯京城に於ける、米價暴騰をのみ喧しく云ふ者に非ず、全鮮に亘る此の突拍子もなき暴騰に對し、其の根源を極め原因を探り以て一般生活に安全を與へんとするにあり。

◆國民の健全なる發展は、常に主要食料品の價格によりて、支配せらるゝもの大也。而して爲政者は常に此大局に着眼して、政策宜しきを圖らざるべからざるは、もとより言を俟たざる處也。

◆內地米價騰貴の爲、之が調節策として『鮮米の移出も可ならん、然れども今日の朝鮮の實情に鑑み移出差止めをなすも、何の不可あらんや。今日の鮮米移出は、唯一部奸商の私腹を肥やし、鮮內住民に生活の不安を與ふるより』他に何の利する處かある。

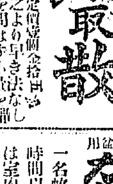
◆內地に於て、食料公定相場を規定するは、成る程種々の面倒もあらん、議論もあらん。然れども現今の朝鮮に於て、準據すべき食料公定相場を規定するは、否、規定せずとも、公示する丈けにても、今日の急務なるべし。而して之に依て食料管理の策を徹底せしむるは、目下急策の一たるべきを疑はざる也。

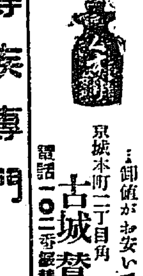
◉筆生募集 自宅通勤隨意
字を能く書く確實なる男女五名本人應接履歷携帶至急來談あれ
京城長谷川町五八 朝鮮製藥合資會社 電話一三〇九番

連日滿員御禮
驚倒的大活劇連續大寫眞
事實？諷刺？ 秘密の王國
全十五編三十二卷の內六卷上場
大好評 鐵の爪以上
大正館

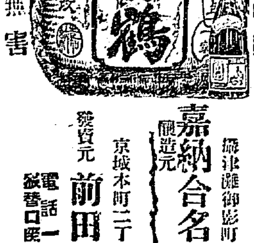
東京日本橋元 高木與兵衛 天狗町
清心丹
腹中要藥
氣分を爽にし船車の不快、過酒食、嘔吐下痢、時候アタリの豫防、胃腸を強にし消化を進め赤痢、コレラ、腸チブス等の豫防となる

內科 呼吸器病 胃腸病喘息
小兒科 リユマチス
京城本町二丁目四十五番地 電話二八八〇番
山田病院 院主 山田萬作


警務總監部認可
取散
衛生無害 いはゆる蚊を殺すは之より早き法なし 室の內外を問はず小量を撒布せば蚊は直に死する事請合其外あらゆる害虫にも有効保證
京城府黃金町三丁目一九一番地 朝鮮一手販賣店 矢山本商會 電話五三四番
各地特約店御希望の向は御照會を乞ふ
用草除蟲 定價壹箱二十個入金貳十五錢
かとりせんこう
一名蚊取炭火の代用として一時間以上を保ち高尙なる香りは室內に充ちカトリ用として此れ以上なし


純良の藥品と賣藥が揃つて居ます
クラブ化粧品代理店ですから
ご御値がお安いです
京城本町二丁目角 古城贊化堂 電話一〇二番 振替七三七番

◉痔疾專門
入院隨意
京城明治町一丁目本町より入る中程（電話二一〇番）
京城久枝肛門病院

大日本優等清酒

白鶴
品質純良 衛生無害
醸造元 攝津灘御影町 嘉納合名會社
發賣元 京城本町二丁目廿番地 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五番

產科 婦人科
京城壽町 電話一二〇一番
二宮醫院
醫學士 二宮亮吉

大正七年七月一日改正見行

○米は澤山ある
手持筋が慌て出す
內地市場暴落の聲に驚いて
＝少しの辛棒で相場は下らう＝

鮮米拂底の原因は地方の農家に手持品がなくなつたからだとの説もあつたが事實は決して然らず矢張り奔騰を見越して賣惜んで居たのだと云ふことが判つたそれは何故かと云ふと今迄は一つも來なかつた地方の手持筋が十二日來俵に

▽見本を携 へて市中各精米所に取引を申込んで來たからだ殊に今村精米所の如き朝から入り代り立ち替り訪問するこれ等の手持筋で市を爲すの有樣であつたが然もそれが皆『私は千俵持つて居る』『私は七百俵ばかりです』と云ふ可なりの大手筋ばかりである例で彼等の口吻を基礎として推算すると往十里から麻浦に亘る漢江沿岸丈けでもまだ一萬や

▽二萬の米 はあるらしい『イヤ』らしい』ぢやない確かに豐富過ぎる程ある手持筋が俄に斯う慌て出した理由はと云ふと之は疑ひもなく內地市場の一角に起つた暴落の聲に脅かされたからだ內地の相場に釣られて居る朝鮮の米價は內地が下れば自然に下る然も今迄の賂り方が常軌を逸して居た丈けに一度下ればその反動が恐ろしい迂濶して居ると手も足も出ぬやうな慘澹たる目に逢はねばならぬと云ふのが彼等の

▽思惑心を 增長させた唯一の強材料を滅茶々々に叩き壞したものらしい然し米屋の方では最う過般來の天井を知らぬ暴騰振りに懲らず氣味を惡くし一生懸命になつて警戒して居るから幾ら手持筋が見本を持つて來ても決して取引をしない詰り今高い玄米を買つたらその揚句に暴落と來たわでは夫こそ拔き差しならぬ破目に陷るからである米屋が斯んな態度に出れば出る程手持筋は

▽益々躍起 となり今の內に一俵でも餘計に賣らう賣らうと焦慮つて居ると云ふから愈が深い『米屋が今少し踏み堪へて居れば今後ドシドシ米は下りますぞ』とは今村精米所主の談だがこれは恐らく遠からず事實となつて現はれるだらう市民も今少しの辛棒だ

○十七日待ち焦れた
外米が賣出される
▼…小賣値は二十二三錢位ゐか
外米を食ふ事を誇りと心得よ…▲

待焦れてる外米は愈々十日內地を積出し十五日には仁川著十七日には愈々京仁市民の口に入る事となる其量は鈴木商店が五千袋、三井物産が二千袋合計七千袋であるから此丈の米が市場に現はれるこ

▲人氣は倏忽 緩和され米價は下落するに違ひない相場は卸値が二十四七十五錢であるから小賣値は升に就き二十二三錢位であらう賣出し方法は鈴木商店では直接需要者の手に渡るやうにして暴利を貪る者や先高を見越して居る者などには賣らぬやうにするこの事であるが釜山では

▲外米の賣出 しと共に需要者は店前市をなし奪ひ合ひをした程であるから京城でも素晴らしい景氣であらう因に某方面の紳士は外米到著と共に試食會を開いて外米を食ふ事を一種の誇りとするやうな思想を普及したいと言つてゐる

★十二日出征の途に就ける浦鹽派遣軍司令官大谷大將
＝九日軍司令官辭令奉授式濟みたる後撮影＝

旭町の子供角力

親父の向ふ鉢巻の[illegible]

…氣である。初めの內は散歩がてらに立寄る人であつたけれども此頃は全く熱心に[illegible]來る人丈けで[illegible]

…位は難なく飛び附けて復飛び附くと云ふ有樣其都度起る喝采、耳を聾する計りである。この間から朝日町[illegible]

…要つて來るのを加へて今では力士八十名といふ仲々盛大なものである。鈴木[illegible]ビール[illegible]寺圍の[illegible]の下に[illegible]

[illegible]日午前釜山入港新羅丸一二三等客　一等（十八名）長谷川好道、吉田雄次、賀田直治、同夫人、同兒子、岩田兼藏、[illegible]　…も、高島銀太郎、內野雄吉、安山要勝、同ぎた、同みね、宮本秋造、水野振暁、高畑しづ、西村哲次郎、岡はる、同正子、[illegible]　…地、篠原友太郎、新川末次、平松貨四、同さみ、同聰一、同信武、濱水はる、稲谷きく、北村敬介、北原さめ、高村彌次、長谷川右衛門、外人二名　三等（二百三十名）　白土勉、土橋貫治、北原菊枝、岡田勝利、田島山敷、荻次郎、佐原修、小林敏光、方鍋鈴、太原要、鈴木寛平、名和野秀三、香村菊次郎、新田勢次、池尻和太郎、大橋[illegible]

○在米は缺乏せず
銀行倉庫や豪農の庫には一杯詰てる

京城米穀商曰く、京城には在米拂底と言はれて居るが決して拂底事はない、市場は總て盛んにある、銀行に就いて在庫高を調査し見れば在米缺乏などと言ふ事は言語道斷である、今日も市場に千叺以上の白米が著いた程である何が故に市民は焦て騷ぐか、殊に麻浦や京城附近の豪農の庫には米が一杯詰つて居る、朝鮮の米が餘剩があればとて決して不足するやうな事はないのだ

○豐富な
粟の在庫
二萬袋からある

鈴木商店京城出張所では目下粟を盛んに賣出して居るが在庫高は京城のみでも二萬袋からあり之に沿線の在荷を合すると莫大な數量に達する賣先は蓬萊町の豐田、中島兩店で相場は十五圓四十錢小賣値はゝ等精白が升に就き二十錢から二十二錢位である

○家憲を破つて
古米を賣出す

東京に於いては米價又復騰の圏勢を示したる折柄秋田縣湯澤町の山內儀助なる人九日神田川岡米問屋松村金兵衛方へ天保の大飢饉に際し貯藏せりてふ千五百俵の古米の見本を送り之を糶捌りこして送荷すべしとの通知を寄せたり又酒田の豪家本間家にては毎年四千俵宛の白米を貯藏するを例とし家憲として二百十日を過ぐるに非ざれば賣出をなさざりしが本年は豫想外なる米價暴騰に加へ帝都の在米も漸次減少しつゝあるを見て同情禁ぜず特に家憲を破りて先頃來多少の出荷を爲しつゝありと

○小米は石十圓安
細民は代用品を混用せよ

米價暴騰甚だしき折柄細民は良い米を食はうとしないで代用品を混合したが宜からう粟は白米の半額だし小米は石に就いて一等品ですら十圓安であるから、先づ斯ういふ食糧品の食方を研究したならば安價に生活する事が出來る殊に小米の上等品になると味は普通米と何等異なる處がない（天日常次郞氏談）

○手持米を吊上げる、
目的で盛んに買煽つた
鎭南浦の齋藤新井兩店

鎭南浦に於ける買占事件に就き平安南道警務部より警務總監部へ達したる報告に依れば鎭南浦齋藤精米所の由造坍雄、荒井精米所の松浦舍藏兩名は各自己の精米所に籾二、三萬石を所持し之れが相場を引上ぐる目的にて一般地方の米價騰貴に藉口し勝手に値段を定めて九日同地の朝鮮人米穀商より籾一貫目を十一錢の割合にて齋藤は千石、荒井は三百石を買占めたるものにて白米一石なれば時價より七圓十五錢の高値となるやうに釣上げ居ることを鎭南浦署にて探知したるより同署にては檢事と協議の上右の行動を保安規則違反と認め兩名を直ちに拘留し尚引續き取調べ中なりと

○奸商は力武か
九日京城白米を買占めたりとの噂

米價は今や殺人相場を現出し市民は恐慌不安に襲はれ居る最中仁川力武精米所の店員九日京城に乘込み來り二三市場に於て精白米の買占めを行ひ其悉くを採渡ひ行きたるを以て十日以來一躍二三圓方の騰貴を見たるなりと噂せられつゝあり

○又小西か
群山の米買占

去る六日大阪米商人中谷良次郎、前田合藏、木谷久平、杉山東及下釜山花田善太郎、板良等何れも大阪小西辰次郎の手先らしく群山に入り込み盛んに買占を爲したるが騰貴價格は六日に於ける時價三十三圓八十錢なりしが七日には三十六圓五十錢八日には三十九圓にして即ち三圓三圓五十錢乃至五圓二十錢の高價にて六十日間の延取引を以て一擧に買占をなしたるが內二十石は九日大阪に向け發送せりと

◆白米小賣值段◆

＝十二日著各地電報＝

▲仁川　小賣相場前日より動かず特等一升四十三錢一等四十二錢五厘二等四十二錢目先尚高し

▲大邱　一等白米相場は一定せざるも最低一升四十錢に引下たり

▲鳥致院　一等白米一升四十二錢

▲元山　一等白米大口取引一升四十五錢小賣一升四十六錢尚強味有り

▲公州　白米小賣値一升四十五錢

▲兼二浦　白米小賣値一升四十二錢五厘

▲馬山　白米一升五十二三錢なりしが十二日午前五十錢に下る中には四十八錢に販賣するもあり統一せず

▲群山　一等白米小賣相場一升四十四錢十一日に比し一錢安

▲晉州　白米一升四十錢此上騰貴の模樣なし出米途中買收の奸商を取締るに決せり故に更に騰貴せざる可し

▲木浦　上等白米一升四十二錢

▲全州　米小賣組合無きため值段區々十二日一等白米一升最高四十五錢最低四十一錢

○齋藤久太郎
所在を晦す

別項記せる如く米買占めの結果保安規則違反として其筋より所員を檢擧されたる鎭南浦齋藤精米所主齋藤久太郎氏は此程突如買占問題の再燃喧傳さるゝに際し何れにか所在を晦まし、あるが如きが右に關し同氏經營京城三坂通齋藤製綿所員の語る所に依ば買占をやつたので餘り世間が物騷になつたから不測の危害を受けでもするご馬鹿を見るから等ご主人は話して居りましたが逃げ隱れしたのではありません、今は用事があつて大連に行つてゐらつしやる筈ですご

○粟に小豆を
混ぜて
食ふ開港場の下層鮮民の生活

鎭南浦では思惑筋の買煽りより一層奔騰せし米價は四十二圓臺を突破し市中甚だしく緊張し來れる今日鮮人下層民の生活狀態に就て調査するに彼等社會は現時勞働賃金の高率なるが爲め薄給者の如く大なる苦痛を感ぜざるもの、如く而して目下彼等は二十一錢の粟に小豆を混合せるものを常食に用ひ尙ほ甜瓜を代用こする向き多く一日の生活費平均して約四十錢見當なるが之に對する勞銀は一日六十錢以上二圓を得つゝあれば左程の困難にあらずこ（鎭南浦）

○米買の奇観
◇宛然女一揆
＝元山市民の苦痛＝

釜山商人等の買占以來元山は一層在米の缺乏を感じ自然正米は益騰に奔騰を重ね十一日小賣は遂に升四十八錢を稱ふるに至れるが之が爲め一般の苦痛甚だしく中流以下の細君連は此際一錢でも廉きものを手に入れんこて爭つて元山里の朝鮮町市場迄買出しに出懸けつゝあり十一日は恰も市日なりし爲め市場相場は四十六錢にて市中の米に比し二錢の値開きに過ぎずこれに滊夫賃を加算すれば市中相場こ何等差違なきも物目を勉強する事こて買手頗る多く殆ご奪ひ合ひにて持ち去るなご一時は却々凄じき光景を現出したり

○米撰女
か不足する

米價騰貴に伴なつて精米所の米撰女は他に轉業する者多く之がために精米所の作業能力が減退した、其結果各工場主は大に窮いて組合協議會を開き八月一日から賃金五割の引上げを斷行して女工の募集に努めて居るが他に工賃のよい仕事が多いので容易に集まらないこか、斯樣に一方に於ては作業が捗々しく進まず、一方に於ては賣買高が激增した、め精米所では石拔米の供給に手を擴いて居るさうだ

○洛陽で蓆旗を立つ
＝京都米騷ぎのその後＝
暴民中には强盜と變じて掠奪す
終に軍隊出動して鎭撫す

既報京都に於ける細民部落の米一揆は漸次擴大し十一日夜は其數々萬に達し夫が幾組にも分れ喇叭太鼓を鳴らし蓆旗等押立て兇器を携へて電線を切斷せるより電話停止し上京の大半は暫らく暗黑こなり電車の運轉亦中止したり又米屋を襲ひたる物數知れず宛然戰場の如き大混亂を呈せり尙ほ暴民中には强盜こ變じ掠奪する者多く手の著け樣無く同夜十二時に至り十六師團一騎兵、步兵二百六十名出動警備せり全市恐怖に包まれたるも夜明けと共に漸く鎭靜せしが尙嚴重に警戒中なり拘引者百五十名に及べり該暴動は特殊部民を中心とせり（京都電報）

米值調べ

市內＝十二日午後二時　十二日午後二時市內各白米穀店の小賣值段を調たるに左の如くにて本日も尙一定せざるを見る可し

天氣

晴一時曇（十二日午後六時より十三日午後六時迄）

[illegible]

○大阪も米騷ぎ
暴行至らざる無し

大阪にては十一日夜群集數千の米屋を襲ひ白米廉賣を强要して各所に暴行を働き一方市民大會を公會堂に開き五千の群集閉會後も退散せず喧騷を極め同夜十一時漸く閉會せしも群衆は數組に分れ知事に米價調節を陳情し又藝妓を乘せし自動車を破壞するなご暴行至らざる無きより警察側は非番總出にて警戒に努めつゝあり（大阪特電）

○名古屋の光景悽慘
米屋町にて終に警官と衝突す

名古屋市に於ける十日夜半の米騷は引續き不穩の形勢を呈しつゝありしが果然十一日夜八時三十分約二萬の群集は又復米屋町に殺到し來り警戒中の警官隊と衝突して警官は遂に拔劍し群集は傷つきて拘引されたる者約七十名に達し警官の負傷又約十名を出だし群集の重傷を負ふて死に瀕し道路に横はるものあり市內戶を閉ぢ電燈全く消され光景悽慘を極む（名古屋電報）

×緩衝機×
買置する勿れ
萩原生

米價は日に日に狂騰を續けて底止する處を知らざる有樣で中產以下薄給者の生活的苦痛は實に名狀すべからざる狀態であるが、そもそも玆に至つた原因は云ふ迄でもなく鈴木某の買占及び出兵宣言にあるが、單にそれだけなら斯く騰貴は免れ難い勢ひであるとするも、斯迄に狂暴なる昂騰を來たさなかつたであらう、米價をして玆に至らしめた大動因は、一般個人が先高思惑買ひを一齊に爲したからである、國家の政治が國民の政治であつて國民が自覺せる政治的知能を應用するか否かは國家の消長に大なる關係を持つこ同じく、國家の經濟關係も政府及び經世家にのみ依賴して居ては決して共同の利益を確保する事は不可能である、國家の經濟は各個人が單なる自己の眼前の利害にのみ立脚する事なく公的利害觀念を擴充し以て此れを經營して初めて社會の經濟の平衡を保ち且つ幸福を增進する事が出來るのである單に自己の利益を社會の利害と無關心的に確保せんとするは到底不可能事である人類は社會的動物である以上社會的觀念を放れた個人は無意義である、卽ち今回の米價暴騰にせよ、各個人が社會的關係が足りなかつたに其因して居る、各個人が自己眼前の利害に幻惑して、此の勢を助長した事は否まれぬ事實である所くなる上は出來て終つた事を責むるも詮ない事故、吾々は公徳を重んじ無暗に買溜をなさぬことが緊急事である又米の需給の副食物を盛んに食用する事も緊要事である斯なさば人氣は自然に沈靜し在米にも餘裕を生じ本質的米價に復歸するもの信ずるのである京日十日朝刊二面に大村氏の談こして朝鮮は未だ普通ならば每月十三萬石輸出能力を持つて居るさ云ふ話である、品物がありながら法外の價格に苦しむなど隨分馬鹿げた事である、此の際に吾々は恐踊を言つたり騷いで居つても仕方がないから吾々各個人が互に最善の途を執り、共同の幸福を守らればならぬ

奸商に鐵槌を下せ
米倉町　吉田作太郎

殺人相場！　恐怖時代の到來！　食を與へよこ叫ぶ細民の叫び！　惡向たる悲慘事であらう、吾人は新聞紙に依つて報道せらるゝ各地の狀況を知る毎に

◆冷汗淋みを襲ふの感無きを得ない、然るに一部の奸商は民衆の窮嘆さ、窮民の怨悶の上に坐して獨り腹を肥やさん事に汲々乎として居る彼等には社會的良心がない、道德心がない、人間らしい同情心がない、社會的噴火山上に登つて居る民衆を冷々淡々として眺めて居る許りでなく

◆瀕死の者の血を吸つて貪婪を滿さんとしてゐる、朝鮮に於ても斯る輩が現はれて餓ゑに泣く在鮮民をして益々餓鬼道に突墜さんとして居る曰く鎭南浦に於ては新井、齋藤の兩精米所曰く群山には松下某外數名の連類、曰く京城に於ては賀田全協の手先其他各地に乘込み盛んな買煽りをなしつゝあるを以て今や

◆全鮮在住民は恐慌を惹起し生活難の聲喧びすしきに非ずや、吾人は斯る輩に對して道德的覺醒を促すの徒爾なるを知るが故に當局者に對し一大鐵槌を加へて彼等奸商を退治せん事を熱望に堪へざる者である

○勞金の增給を迫る
電車運轉手車掌の要求
◇『應ぜざれば同盟罷業す可し』と敦圍く◇

京城電氣會社の運轉手車掌は從來薄給なりしを以て不平絕えざりしも昨今來米騰貴激しく到底糊口を凌ぐ能はざるより十一日午後より三々五々寄合ひ值上げ云々を口にし居たるが十二日午前十一時の交代時間に五六十名東大門電車々庫に集合し協議の結果五割方の勞金增給を交涉する事に決し肯應ぜざる時は同盟罷業を決行せんこ敦圍きつゝあるを電車課にて嗅ぎつけ取敢ず代表者二名こ會見の上或程度の值上をなす可しこの意嚮を傳へ一先づ鎭撫し置き目下善後策講究中なるが如何なる成行を見るや各方面にては經過を注目しつゝあり

▲電車課員曰く

右に就き電車課員曰く『車掌運轉手は最低一時間三錢五厘から九錢迄あるが平均は五錢五厘位である月收はご言ふご一箇月間の一人平均延時間を二百六十時間こするこ僅々十四五圓にしか當らない、此位の收入では此米價高騰の際こても生活しては行けまい』

十二日午後二時市內各商店小賣相場

▲梅林　四三錢　▲待井　四三錢　▲松浦　四三錢　▲甲村　四三錢
▲今村　四三錢　▲友田　四三錢　▲大山　四四錢　▲田川　四四錢
▲佐野　四三錢　▲重藤　四三錢　▲竹田　四三錢　▲村岡　四三錢　▲國行　四三錢　▲藤富　四三錢
▲田中　四三錢　▲勢一　四三錢　▲中川　四三錢　▲上田　四三錢　▲正木　四三錢　▲細川　四三錢

○女刺客巡警を殺して自殺す
奉天夜中の銃聲＝南方派志士？

十日夜八時頃奉天城內にて俄に數發の銃聲起り巡警及び兵士の右往左往する者夥しく素破兵變の惹起せるものなりとて各商店は孰れも戶を閉して警戒せるが十一日夜明こ共に城內宮殿にて男女二名の屍體を發見せり而して男はモーゼル銃を所持し女は銳利なる小刀を携へ自殺し居たるが一時は却々の騷ぎなりき抑も銃聲は支那芝居前にて發射せられたるものにして當夜張督軍の子息の觀劇し居れる茶園に怪しき四名の洋服を著たる支那人入り込み居たるより支那密偵は是を怪みて身體の檢査をなさんとせしに四名の者は突然戶外に飛び出して拳銃を發射し宮殿に入りて巡警一名を射殺して女は自殺せるものなるこ判明せり自殺者は身元判明せざるも多分張作霖督軍の留守中を得感せる支那南方派の刺客ならんこ觀ぜらる（奉天特電）

○愉快を極めた元山行
第二回の納涼列車の賑ひ

十日夜十一時南大門を發した元山行臨時納涼列車は普通乘客百二十名京管局員三十餘名の外乘務員救護班を加へて二百名近くの人を北に運んだ

◇折柄墨を流 したやうな空からは雨さへ降り出し明日は果して晴れるやら頗る疑はしい空模樣なるにも拘らず誰一人屈託相な顏を見せるものもなく吾も吾もこ乘込んだ者が百五十名に達したとは盛んご云ふも却々愚かなり實に素晴らしい程の意氣込ご云ふべきである翌拂曉釋王寺假停車場に停車するや數十名の男女は

◇釋王寺に詣 づる爲め此處から下車した夜來の雨は尙晴れざるのみか愈々本降りこなつた中を濡れ鼠こなり行列を作つて繰出す有樣は却々壯絕なる光景であつた元山に到著した乘客は大抵丸金、大芳の二旅館に入つたが正午前から雨は漸く歇り間もなく一天拭ふが如く晴れ渡つた爲め『それつ』こばかり松亭里の濱へ志すもの引きも切らず

◇白砂青松波 靜かなる海水浴場は忽ち大賑ひに賑つた、松亭里の濱は前にも紹介した通り螺蠑のやうな廣島を始め永興灣一帶に連る群峰をも指呼するを得て眺も及ばぬ眺めである且海水頗る清澄沖合には櫓を設け浮標を泛べ寄せては返す小波の足を洗ふ渚に近く脫衣場休憩所の設備もあり何れも都門の苦熱を忘れて

◇愉快に遊び 暮し大滿足の體で同夜十時元山發の列車で歸京したが大部分は第三回の臨時列車で又元山に出懸けるご云つて居た尙京管乘務員は往復共甲斐々々しく立ち廻り親切に乘客の世話をして居たのは特筆に値する第三回の

◇臨時列車は 來る十七日（土曜日）夜十一時京城を發する

出征軍人「家族訪問記」（四）
◎樂ではない
＝が職人がよくしてくれるので＝

◇上田貫治君◇　本町二丁目三番地　山本旅館前に時計商を營んで居る上田君の留守宅を訪ねる、あまり廣くない店の白金出の日覆ひの蔭には二人の職工さんが、修繕の器具を留き並べて、かつせこ仕事に專念してゐる。その側で若い妻君は愼ましく語る、『御覧の通りの有樣で小さい店の主人が懸命にやつてくれねば、容易じは無いのですが……』こ職人さんの方を見ながら『この人達が力づけて、專念してくれるので、まあ當分繼續して見やうかご思つてゐるのです』は、こゝには親族はりませんが、全北の金山には兩親が有りますから……。何にしろ三日の急電で四日に出發して仕舞つたので、まだ何の話もついて居りません。主人は豫備の步兵で、國は大分の宇佐郡役冠村です』

▽神樣に詣つて
……糊口の途を考へてゐる……

◇山本春治君◇　黃金遊園の横手、電車通から南へ下水板の露路を行當つた所に山本君の留守宅を發見する、三疊の、それでも小綺麗こ形付けられ、神棚には燈明が明かるい室で、妻君眞我その（こ）さんの話すのをきく山本君は朝日組の車夫さんである『ほんこに皆樣が親切に言ふて下さいますので、嬉しいやら悲しいやらで、泣くまいこ思つても淚がこの通り出てしまうがないのです御覧の通りで、內の人に働いて貰つてその日を暮して居たその柱を取られたのですから、唯狼狽てばかり居て、よい考へも浮かばないのです、昨日も、けふも神さまへお參りに行つて來て、お棚へもお燈明をつけて、それから氣を取り直して、ごうかして口すゝぎの道を立てねばこは思ふのですが、思ふ許りで何にも手につかずに暮して居たのです。』こ溢れる淚を漸くにして押へる、『ハ、お國の爲の事ですから、覺悟はして居りますので、出發の時にも憲兵隊の方に內の人が妻こ子のことを賴むこ云はれたさき、後のことは心配しなさんなこ勵まして云つて貰つたのです。エ、子供は十歲の男の子で天長節に生れたので節こつけたのです。主人は三十三で後備こかの輸卒です。ごうかして早く暮す道を考へなければならないのです』

◎設立資金寄附　本派本願寺朝鮮開敎總長松原含龍師の故夫人の遺志により瀧中臨時に寄り香典返しに代へ金五十圓を佛敎大學京都女子大學設立資金として同東游所なる京城佛敎婦人會へ寄附したり

○經濟鐵道たる 平元線（前承）

◆平壤商業會議所調査◆

將來の平元鐵道

新道は何れも舊時代の測量並に建設豫算に屬し最近に於ては狀況一變し現に平壤方面に於ては勝湖里驛まで十六哩の開業を見元山方面も永興迄三十三哩九分の營業開始を見、更に同線は其の兩端より延長起工を見んとし當時の測量線に比せば全然其の趣きを異にせるを以て路線の關係物價の暴騰殊に鐵材の敵騰に依る建設工費等殆ど同日に談ずべからざるものあるが之を平元線百三十八哩四に對する建設總費千四百五十三萬九千圓に比せば一哩當り建設費は『三』の線と伯仲せるのみにして他の『一』『二』の線は遙かに高位にあり況んや今日の鐵價其他の諸材料品の時價に依り計算せば建設費は蓋し驚くべき高額に達すべしと雖も鐵道布設の主たる目的に於て到底平元線と比較すべからざるは勿論なるが三の線なるものありと雖も平壤方面に於ける現勢に照し且つ中間物資の獻山、孟山線の如き如何に工費の低廉關係並に距離短縮を要件とする鐵道布設の眼目より見て到底採用すべからざるは專門家の夙に認むる所なるが元山方面に於ても馬息嶺の難工事を避けて現今の開業線たる元永間の何れにか出で、元山に出づべく其の何れとするも平元線は元山に直通するにあらずして咸鏡線の南端部と連絡すべきものと信じ居れり某鐵道技師の談に依るも又今回沿道視察の際（開城商議紀記）鐵道技術員の調査を經たりと云ふ地點を聞知したる處に據るも陽德郡平岩里より高原方面に出づるもの即ち『二』の麒麟嶺を越ゆる線を擇ぶが如し之に依り平元兩端に於ける既設線と之に連絡すべき距離を推算せば左の如き哩數を示し居れり、八十五哩四、道は第一線に依り平壤より陽德郡平岩里に至る距離なるが之れより平壤江東間二十七哩を差引き勝湖里より江東邑迄の距離見込約十二哩を加へたる哩數七十哩四となる是れ勝湖里線を起點とするに依り十五哩を利し得るものなり之に加ふるに平岩里より麒麟嶺迄及び同地より高原迄の三十二哩を加算したるもの百二哩四となる、之に依て見る時は平元鐵道が愈々現勝湖里線を起點とし元山方面に於ては南部咸鏡線高原迄を共幹として連絡するものとせば平元鐵道約百四十餘哩は僅に百二哩餘の建設工事を施さば足るものなり而して前記の第一線より二十一哩二第二線より四十五哩、第三線より五十三哩一を節約することを得べし今假に建設費を一哩二十五萬圓とするも二千五百六十萬圓を以て足れり然して咸鏡線南部並に勝湖里線の開通に依り不遠不識の間既に斯くの如き建設上の利益を獲得するに至りたるを知らば蓋し思ひ半に過ぐるものあるなり今右の線路を採るとして平元間の距離を算定すれば平壤勝湖里間十六哩、勝湖里江東間十二哩、江東、平岩里間五十八哩四、平岩里、高原間三十二哩、高原元山間廿六哩二合計百四十五哩六なりと

○吉林の材況

◆朝鮮銀行支店調査◆

七月中に於ける吉林の市況は上旬に於て降雨止まず流筏は難を途中に避け荃筏自然鈍狀を呈し尚ルーブル下落の結果北滿材の南下するあり加ふに長春以南連絡輸送圓滑を缺ぎ一方吉長鐵道は全力を木材輸送に傾注したるため當地發送の材木は大部分途中長春驛に停滯し回收自然遲延を免れず目下出廻り盛期にも拘らず木材取引き上影響渺少ならざるを以て當業者滿鐵に訴ふる所あり幸ひ幾分滯貨も減退しつゝありし折柄雨期も去り河水豐にして流筏を容易ならしめ取引平常に復し再び活躍の氣運に向ひしが適ま中旬に至り俄然吉長鐵道に於て運賃五割引上げを發表せしため木材商の狼狽一方ならず吉林木材商は勿論長春の同業者も亦相呼應して引上の理由薄弱にして滿鐵經營後に於ける一般の豫期に反すると甚だしとし運賃引上撤廢運動を開始し吉長鐵道を始め滿鐵本社及び關東都督府にも手を分ちて當地の實情を訴へつゝあるも解決容易ならざるが如く吉長鐵道に於ては値上げ反對の意外に大なるにより先づ一割を減じて四割引上にて解決せんと試みたるも却つて無定見なりとして世評を沸騰せしめ當業者一齊に實施期二十一日より解決迄積込中止を議決したるも運賃割戻しの條件にて積込丈けば繼續すること協定せられたり

尙本件は單に木材取引のみに止まらず其他當地輸出入貨物に影響を及ぼすこと勘からず日支人を問はず地方金融經濟上默視す可からずとし支那側官憲に於ても亦今回突然著るしき引上をなすは不穩當とし直接北京交通部に對し引上の程度と實施期につき電請せるあり結局相當の時期迄實施を見合せたるも或る程度の引上は免かれざるべく要するに上記の次第にて木材の荷捌き全く順調ならざりしため豫想の如き活氣を呈せざりしが資本の需用可なり忙しく金融小繁の裡に越月せり

當月中貨幣市場を見るに月初百十二元な稱へたる小洋相場は漸騰の氣勢を呈し月央百〇七八元を呼びしも更に漸落の步調を辿り月末百十一二元を示すに至り目先持合の姿なり尙官銀號小洋票と中國交通小洋票との開きは益々多きを加へ中國交通票は市場に全く共影を絕つに至れり官帖は月初十六吊三百文に暴騰せしも月央十三吊七百文迄引戻し月末十四吊な稱へ目先持合ひの氣勢を呈せり（吉林）

○米の騰貴と小賣商人

お客樣には氣の毒で賣れぬ 困るのは何よりも小賣商人 仁川 平山松太郎氏談

突飛な米價の昂騰で實に重大な社會問題となつて來た此の先幾ら騰るか見當の附く筈がないが其の奔騰の勢ひと來たら昨日の値段はもう今日はもう十錢も二十錢も騰つて居る始末で世間の人は小賣商が徒らに奔騰の聲に著け込んで騰げなくても好いものを遠慮なく釣り上ぐるとでも考へて居る人があるかも知れないがそれは大間違ひ何を云つても困るのはお客さんよりも却つて

◇◇小賣商人 が苦痛でならぬ現に精米前では欲しくても米が無いので遠慮なく値段だけはドシドシ上げるそれも其の管今の模樣では持米の見當が附かぬ有樣では持米を手放す者が絕無と云ふ事になり內地が四十錢五十錢との聲が出れば自然朝鮮でもそれに準據して騰るのは已むを得ない朝鮮で食ふだけの米はまだ充分に持ち前があるのは事實らしいが內地の相場が五十錢もするのに朝鮮許り安く手持ち筋に賣出すように要求出來ない譯だから困るだらう精米筋の値頃から云へば小賣商ではまだ

◇◇頗る格安 に賣つて居る之は小賣商人に少くとも二三日以前に於て仕入れた持米があるから今の値で賣れるのだけれど一々其の日其の日に買込んで賣るとなつたらトテモ今の三十八錢やそこらでは賣れぬ現在今でも精米所から取るとしたら既に四十錢も其上でないと賣れる者じやないさりとて一度に値上けする事はお客さんに對して到底不可能であり惡な具合で小賣商人が板挾みで一番困つて居る事を了解して貰はねばならぬ（仁川）

○仁川後援會

仁川軍人後援會は仁川商業會議所樓上に於て臨時總會を開催し會則の改正其他に就て議定せり從來會則の改廢は會員の總會によりて決議すること、爲されたるも斯くては不便勘からざるに就て將來は會の存廢或は會則の改廢等は一つに評議員會にて之を決するの權能を規定し之が爲め從來の幹事を改選し茲に五名の新幹事を得て會の萬般の事業は之等五名の幹事及び顧問の意見によりて決さる、事となり活動上適宜な處置を執るに便する事になれり會則改正の主なるものは從來醵金用者に對しては決算報告を爲すと改定せられたるも將來は評議員に通知し一般醵金者には新聞廣告を以て通知に代ふる事となれり其他評議員二十七名とありしを三十六名に改め顧問として仁川府尹及仁川警察署長を推して顧問に囑託するものとせり而して應召軍人に對しては餞別として是迄郵便葉書五十枚を贈ることせられた事を改定し金品を贈呈すこと改正せる後幹事評議員を選任せり

○連絡船上陸客 十二日

[illegible]

○氣の毒なるブリヤー族

三百年前露國に歸化したる三十五萬人を有する民族 佛教國たる日本を慕ひて

既報の如く鐵に長春に避難し來りしブリヤー族三十四名は目下長春附屬地支那客棧に宿泊し其筋の手にて適當の家屋詮議中なるが避難民の代表者は東西比利亞後貝加爾縣アダンスカヤ郡大字ツウガリスキ村ハンラーラウスキ會前ナヤヤリニツク、アイマーク（郡長）兼タイシヤ（酋長）にして現後貝加爾縣ブリヤト族部長（セミヨノフ任命）のナムダク、ドウイチコフ（五八）にて中五名の喇嘛有り他の者は

◇妻及び子女を伴ない◇

ヤー族は東西比利亞各地に於て約三十五萬人在住し居れるが五月一日突如二百餘人居住するスーゲル部に過激派來襲し殺人、掠奪をなしたる上有力者全部を拘禁する等有らゆる殘虐を行ひ前記ナムダクドウイリコフも既に監禁せられんこしたるを同族と共に滿洲里に逃れ來り約一箇月居住し居たるが其の間に

◇日米英佛に向つて◇

保護方を懇願せしも何等の回答を得るに至らざりしが同地にありしみ同族約二三千名に救助を興へらる日本の某氏が日本國よりこの名義の下に自動車五臺に日用雜貨を積れしが同地も危險に迫りたるより海拉爾に避難し猶支米兩國に保護を願ひ出でしも之亦回答を得ざりしが再び某氏と會合し同氏の盡力により去月三十日海拉爾出發某通譯及び哈爾賓の某々氏等に送られて長春に避難し來りし者なるが

◇是れに對し代表者◇

ナムダク、ドウイリコフは左の如く談れり『我ブリヤート民族は今を距る約三百年以前自ら自己の領土を舉けて露國に歸化せしも種族を異にし宗教を別にするを以て單に露國の治下にありと云ふ名目のみにて更に政治の恩惠及び文明の餘澤に霑る、事無く

◇專ら自活的生涯を◇

送り今日に至りしものなるが第一次ケレンスキー臨時政府の成立するや我ブリヤート民族に對し自主獨立の公稱を許せしを以て我民族は一般に自由と安心とを得たるを大いに喜びしが間もなく第二レニン政府の興るに及び過激派は吾等の特權を認許せず

◇却つて諸種の迫害◇

を加ふるに至り甚だ不安の生活を爲さゞるを得ざるに至れり其後イルクック市を根據として東向し來りし過激派軍は我民族の財産を徴發し加ふるに拘禁殺戮其他有らゆる殘虐を敢てするに至りしが我民族の部長として四十有餘年公職にありし

◇予も亦拘禁せらる◇

べき一人なるを探知し得たるを以て直ちに自己の財産全部を其儘として本年五月一日漸く身を以て逃れしオロワンナヤ驛に出で汽車により漸く滿洲里驛に虎口を避くる事を得たり滿州里に避難し得たるものは後貝加爾國在住のブリヤート約二萬幾人中の若干人に過ぎざるを以て或は他方に活路を求め得たるもの、もあるべしと想像せらるゝも其中或は避難の時機を失ひ

◇抑留拘禁或は殺害◇

せられたるものも尠からざるべしと思はる從つて我民族の蒙れる損害に至りては予の如き中産程級のものですら約五十萬留の財産を放棄し來れるを以て全部の損失を算すれば幾百萬留を數ふるに至るべしと思はるゝなり予等滿洲里に到著するや日英米佛各國領事館及びホルワット將軍を通じて在北京の聯合諸國の大使に保護を出願せしも是等に付いては

◇未だ何等の回答に◇

接せざるなり偶々滿洲里避難中日本國の名義を以て多大の慰問品を惠與せられし事あり我等の喜び譬ふるに言葉なく語に盡す所に非ず其間某氏に面接するの榮を得今回更に海拉爾に避難するに及び羅發中の同氏に再び面會する事を得加ふるに種々なる配慮を受ふし其の結果遂に長春に避難するの運びに至れり是こに於て我等は最も同情深き且つ我等の身を寄するに最も安全なりと信じ得らる、

◇日本國の領土内に◇

避難し得たる事を非常に喜び同時に感謝措く能はざるものあり我等は永く露國の治下にありたりと雖も更に教育、宗教其他民族發展に資すべき恩澤に浴せし事なく亦將來に於ても到底我等の信を置くに足るべく露國の改善せらるゝ事の

◇不可能なるを感得◇

するに及び我等の最も尊崇する宗教を一にせる佛教國として我等と種族を同じふし亦我等の信頼すべき國家は他に求め得られざる事を深く考へ居る次第なるを以て大日本國の官民並に

◇佛教家は我々の◇

懸念なる狀態と微衷とを諒察せられ永く愛護せられん事を冀ふものなり而して我等は現在の過激派軍の勢力失墜に作ひ我等の鄕土が安固なるに至らば歸鄕し再び生活の復舊に努力すべき考へなるも其解決は

◇一に日本國の力に◇

俟つの外なきを以て此意味に於て日本軍の出動は實に我等に鄕土を與へ衣食を給するものとして神に祈願する所なり』尙避難者中の一人は特に威嚴を有するものと見られ旅宿中の二室を一室を祭壇に當て佛像其他種々の物を飾り

◇冥想祈念を凝し◇

居れる樣にて他の者も特に鄭重に扱ひ居れりと云ふ又避難民中の一人は來長當時より赤痢に罹り居りしが去る九日午前二時死去したるに其筋より手當を受け居たる處より彼等の習慣として土葬の外一切拒排する風なるも他の病氣と異なり傳染病患者の事とて其旨を諭し火葬に附する事としたりと（長春）

○割の好きカリホルニヤ種の普及

平南は明年度一萬七千反

大正八年度（大正七年秋播種）に於ける平南各郡小麥カリフォルニヤ普及計畫を爲せる反別につき取調ぶる處によれば大正七年植付け反別左の如し

大同郡四百四十三反、順川郡一千百反、成川郡五百六十反、江東郡三百八十三反、价川郡四百四十二反、計七千三百十十六反にて大正八年度作付見込反別は大同郡二千五百反、順川郡一千五百反、平原郡五百三十三反、安州郡百七反、百三十三反、江西郡一千六百四十七反、中和郡一千五百五十八反、龍岡郡二十八反、川郡一千三百九十二反、江東郡八百四反、一千百五十反、江西郡三千七百七十五反、价川郡七百五十反、寧遠郡六百反、孟山郡四百二十七反而して此增加面積は一萬三十一反なりと（平壤）

○輕鐵一部開通

既報の如く朝鮮輕鐵、浦線の內琴湖、西岳（慶州）間廿四哩一分の營業開始は本月十日よりの管なりしも鐵道局の檢査官來邸の都合上にて多少延期の止むなきに至りたるも十五日よりは多分開通の運びとなるべく兩三日中右區間の試運轉を行ふ手筈なりと尙從來の運轉時間は開通と同時に變更さるべく目下總督府鐵道局に對し之が認可申請中の由（大邱）

○數字の兼二浦

◇兼二浦驛貨物扱數◇

種別	發	着
貨物	九三噸	七四一四噸
小荷物	七七六一斤	五〇五五八斤

◇汽車の降客と乘客◇

乘客 八五八 降客 一二四一（差）三八三（即ち一箇月の去來者）

◇死亡率頗ぶる多し◇

性別	男	女	計
生産	二〇	一四	三四
死亡	八二	四一	一二三

◇兼二浦七月中迷兒◇

內地人 二六 鮮人 四五 支那人 一

◇乞食と浮浪人調査◇

乞食 七 浮浪人 二七 計 三四

◇旅館八軒に泊た客◇

男 三四四 女 九二 計 一四三五

◇警察事故頗る多し◇

（說諭）四二八（保護）四五（注意）一〇四五（制止）八四（計）五二五八にて一日

○貯米調

鎭南浦（檢查所調查）

鎭南浦米豆檢查所の調査によれば同地在米現在高は五萬六千石にして八月一日より五日迄の狀況によれば搬入千百十二石搬出四千七百五十八石なりと（鎭南浦）

○米の廉賣—義俠なる米商

一升十錢安の三十錢にて發賣す

慶南晋州の米穀商人後藤松太郎氏は晋州の某々米穀商人が暴利を貪るため米を賣りに同市場へ來る奧地の鮮人を途中に要して其米を安價にて無理に買取り之を市場に於て高く賣付くる如き奸手段を執り居れるを深く憫みたる矢先本社晋州通信部にては同氏に交渉する所あり一等精白米を時價より

十錢安の三十錢

にて販賣する事の交涉纒りたるを以て近日各府の値段にて晋州警察署長及び面長と協議の上第一回の廉價發賣をなす事となしたり（晋州）

○馬鹿息子を種に騙らんとして

◇失敗したる惡漢二人◇

慶南晋州郡井村面花開里に居住せる田邊與作（二五）こいふ前科三犯の惡漢は同地中城洞居住の李國道（三八）こいふ鮮人の惡漢と共謀して慶南泗川郡邑南面流峙里の豪農姜英佳の長男姜相九（三〇）こいふ馬鹿息子を取入れ甘言を以て欺きたる末姜相九に向ひ父を欺きて金を引出さんとするには外から金を借りたる如く裝ひて引出さば容易すかるべしと說き遂に川邊吾助なる者より姜相九が金四百圓を借入し事になし惡漢兩名は其の證書を作りて姜相九の父姜莊柱方に赴き右の返金方を迫りし處姜は大に驚き數日內に支拂ふべき旨を約束したるを以て兩人は晋州郡錦町の旭旅館に宿泊して期日を待ちたる內此事晋州署員の探知する處となり遂に兩名とも引致せらる（晋州）

○湯屋へ偽刑事

◇何で來たのか判らぬ◇

八月八日午後十時頃兼二浦三菱製鐵所社宅共同浴場に年頃卅五六歲許り黑縮紋付の羽織に白地の單物を着しセルの袴を履きたる男が入り來り番臺にゐたる中桐源四郎の妻お何に向ひ自分は兼二浦駐在所の刑事なるが主人はゐるかとの事にお何は今不在の旨を告ぐると件の男はそれでは訊問の筋あれば明九日午前十時迄に相違なく駐在所に出頭すべしと命じて何所ともなく立去りしが後で中桐が歸り妻より之を聞き翌九日午前十時駐在所に出頭して見ると誰も呼んだ者はないとのことに安心して引下りしもの、何で先きの男が刑事の眞似をして來りしか一向不明なりと（兼二浦）

○初給で壹圓以上

兼二浦で今度募集する職工

三菱兼二浦製鐵所に於ては今回熔鑛爐使用內地人職工三十名を募集する由なるが初給にても八十錢以上を給する外三割內外の割增金を給與し社宅をも支給すべしと云へば屋賃入らずの月三十圓以上に當るべく志望者は直接製鐵所に履歷書を出して志願すべしと（兼二浦）

○仁川在庫穀物

七月三十一日現在の在庫穀類數量は玄米四斗入六萬一千九百十九叺にて前回より見れば約二萬叺を減少せり白米二千八百三十四叺大豆四斗入八千百八十九叺五斗入百六十八叺小豆七百十叺小麥八十叺綠豆五百九十叺大麥六百二十二叺俵入五百十八叺粟三千六百七十三俵粉米二千八百四十一叺裸麥一千百九十三叺俵入八百五十四俵胡麻六十叺黍九十三叺俵入二百三十一俵落麥百九十三叺糯米三十一叺（仁川）

◇夏の海◇

此頃の仁川は潮の時刻が海水浴に少々不適當なれど潮の大きいだけ汐干狩に最も適して居る浴場から東北に當つて石洞へ直線を引く中間の砂中には大の蛤が頗る多く猫島附近の海中には大小雜多のアサリが群生す而も干潟を見計らへば萬石洞から月尾島へは徒渉するな得容易に味へぬ夏の趣味は河原を踏むが如く濡れ砂な洋傘靜かに津々として盡きぬ（仁川）

	（滿潮）		（干潮）	
十三日	前 八、二三	後 八、四三	前 二、四〇	後 三、〇〇
十四日	前 九、〇八	後 九、三四	前 三、一〇	後 三、五〇
十五日	前 一〇、〇七	後 一〇、四二	後 四、二〇	後 五、〇〇

◇相場熟語解◇

（集轉載） 仁川支局 一記者選

チ

◇帳入値段 前場の寄り付値段と後場の大引け値段とを合せて二分したる平均値段のこと

◇丁 （附付、大引前場後場等各共項參照）一丁は一錢、千丁は十錢、百丁は一圓の事なり

リ

◇直取引 株式界の用語、契約を結びたる翌日一定の時に受け渡をなすものなれど合意の上の一定の期間延期する事もあり

◇利乘せ 賣買双方とも利益ありと認むること同の建玉（玉の項參照）をなして利益を計ること故に賣方に廻れば賣乘せといひ買方に廻れば買乘せと稱す

◇利喰ひ 利益ある場合轉賣買戾して利益を得ること

◇兩建 賣と買と兩立せしめ置くこと此場合巧妙に立廻れば賣買双方にて利益を得ることあり

農信

◇本年の平南桑苗

平南各郡へに於ける當局の補助を受け付けたる桑苗の成蹟を調べたる處經營者は九十四人にして此面積十七町九反五畝植込本數四百五十三萬三千七百四十本配布本數二百八十三萬二千四百十一本にして植込本數に屬する生産本數は七十二生產本數に屬する配布本數は九十パーセントの割合なり（平壤）

演藝案内

有樂館 東京小林商會直營 一手代理店 米國ユニヴァサル會社特約 早川演藝部直營 活動寫眞常設館 電話（旭町上）五七七番（階下）三〇五番

▲當る八月九日より公開 ◎滑稽喜劇 靴下 ◎米國ユニヴァサル會社 名女優ドロシー、フイリップ嬢出演 ◎人情劇 愛兒の導き 全五卷 ▲米國ユニヴァーサル會社エルコ新映畫 ◎愛國劇 〇〇令 全二場 ◎天下一品喜劇 旅芝居 全二卷 ◉軍事探偵冒險大活劇 終編 タイヤの一

浪花館 明治町二丁目 長電二六〇番

○八月十三日より開演 東京大阪合同落語大一座

大正館 櫻井町 電話八七三

◎新派大悲劇 黑潮 全四卷 ◉大冒險活劇 秘密の王國

壽館 本町二丁目 電話一〇五〇

◎舊劇 小幡小平次 全三卷

黃金館 電話二六六

百萬弗の秘密 塚原卜傳 全四卷 新派 明ゆく路 全四卷

壽座 本町三丁目 電話五七八番 八月十一日替り狂言

世界的有名なる最新劑

ニキビ そばかすをとり色白くなる！

白色ベーリン淨血劑

山の如き禮狀！ 此の事實を見よ!!

美容上の大敵は云ふ迄もなく色黑、ニキビ、そばかす等の皮膚病でこれから段々暑くなるに隨つてこれ等の諸病症は益々蔓延つて來ますから油斷なく御要慎されなくてはなりません。元來これ等の皮膚病は、從來は單に外面の刺戟によつて生ずるものだと許り思はれてゐましたが最も進步した最近醫學の證明によると主として腸內消化機能の異狀により發作する一種毒素の作用が第一原因であると決定しました、從つて其治療法も從來の如き舊式なる塗け藥や蒸下し等による時は到底根治の見込みなきのみならず毒素の內訌により皮膚炎を喚發する危險があります。本劑は此の原理に基き多年苦心研究の結果我が國に初めて創製された世界的有名なる最新內服美身藥で、絕對に衞生上無害なるのみならず次の如き諸症に絕大の効驗を有し殊に身體を白色艶美にし强壯ならしむる偉効があります、即ち此處に積み上げた直接患者よりの禮狀數萬通は之れを證明するもので絕對に他藥の模倣し得ざる構成であります。

圖 一回三個宛の白色淨血劑ベーリンは體內の惡血毒素を驅逐し ニキビ そばかす 色黑 あせも ぶら 顏色 赤鼻 ノボセ 毛髮脫落 慢性胃腸病 慢性リウマチス等を治し身體を艶麗健康ならしむ。

目下試驗藥特別提供中

本房は世の同病に苦惱せらるゝ方々と喜びを共に頒ちたく多年試驗藥を特別提供した爲め上下有ゆる各階級に通じて夥多の愛用者を得るに至りましたが、尙廣く一般諸樣と此の限りなき喜びを共にしたく今尙試驗藥の特別提供を斷行して居ります、御希望の方は此の際振替カワセ切手等にて三十五錢御送付次第直ちに『最新皮膚病治療法』一冊を無代にて添へ御送藥致します。

日本政府登錄商標 白色ベーリン淨血劑

定價 六十錢 一圓 二圓 三圓

發賣元 東京市上野櫻木町四〇 藥用化粧用ベーリン本舖 合名會社 博仁房 電話下谷二一八八番 振替東京七〇六〇番

全國藥品化粧品店にて販賣す品切の節は本舖へ！

商況

東京期米特電
十二日前場 發會 二十九圓〆一錢

兵庫期米特電
休會

大阪株式特電

銘柄	約込値	十日終値
宇治川水		
大阪電燈		
東洋紡績		
鐘紡		
大阪商船		
日本郵船		
同上新株		
堂島米穀		
東京株式		
大阪株式		

大阪期米特電
停止

大阪三品特電
停止

下關期米特電
八月限 九月限 十月限 十一月限 十二月限 一月限

雜報

粗布暴騰す
三品は土曜日後場に至り强氣側の煽進に大奔騰を告げ各期九十圓臺に跳ね上げ此處愈々四百圓臺に吹出さん氣勢なりし休日明けの前場は電報延着にて不明なるも

休日中は米棉一圓七十錢高を報じ
れば更に幾分かの上値を期待せられつゝあり遂れて綿布も同一歩調に出づべしとて市中氣配は強き頭殊に粗布は品不潤なり

三百四十六圓
一を最高とし今朝は三ェ一票に到達し之を

先物突飛
も漸く一時見合せの姿なるも賣方の持合せり此處に於て三百十五圓十錢の鮮割を以て市中も繪

三二ェ一五十圓
に上る

正米一轉軟化
正米は昨十一日午前中更に昂騰して日本種玄米三十七圓四十錢五十錢に達せり

十一二圓
の安値に

大奔騰
昨午後の反落が原因は內地に於ける外米の大買出し米の優先輸送の外政府の米價制限發表の風說

然人氣の轉換
前日の日
然るに昨午後に至りて俄

丁方の反落
四圓五錢を前日の擧合より百六七十

釜山市場
內地以上に先棄りし結果其反落も又夫れ丈け大きかりし次第

鐵材市況落付
前月末決濟關係にて僅少ながら需要の唱へあり

鐵板類は更に軟化の色殊に厚物は强硬の步調

大麥依然强硬
大麥は在品相當にあるも古品は穩てて高值當時の買値品にて何れも手を放さず

新物は賣人の腰强し

鮮物の出廻り平安道物

支那粟反動高

割安の反動高

更に强含み

碎米上進ぶり

白米高値見送
白米は一昨十日午前中一等四十一圓を唱へられしが當時前場料に比し一時內外の割安なる事は所謂の如くにて同日午後に至り又々原料高の影響に四十三圓に昂騰せしのみならず精米所中手最底四十二圓に上り昨十一日は週の商は

四十四圓五十錢を唱ふるに至りしが

軟化に俄然一轉

落を告げたるより氣配漸く注文一段

小賣白米持合

白米の賣行は此處當分閑散を招くべし

一部の小賣店は一層の値上

鮮白落著く

一般買控

保合の裡に强氣を含め

一齊買付中止

下關相場

釜山市場 十一日
一時出廻り揺薄に伴ふ買物漸減の爲め米主側の發先き內地方面へ…

市場雜觀

南大門廻穀

仁川正米

仁川期米

十二日前場
（新規賣買停止）
▲第一節 ▲第二節 ▲第三節 ▲第四節 ▲第五節

錢安
正米五、七十
九圓〇一錢正米二十
二三圓安を報じた

保安規則の適用は大に一般の注目
直段は果して如何なる米價制限
直段の發表

各地商況
◎木浦（十日）▲玄米（朝打ち）

白米標準値
四十三圓

白米小賣値
一等白米 四十三錢
二等白米 四十二錢五厘

青物小賣値
ホウレンソ一五〇 ナガイモ一〇〇
シシトウ一五〇 ツクイモ二〇〇
チサ 一〇〇 トウガン 四〇
ナツパ 二五 ナンキン 三〇
ミツバ 一五 ニンジン 二五
カイワリ 三〇 ゴボウ 三五
トノイモ 一〇〇 ダイコン 五〇
ハスイモ 二〇〇 ナス 二五
コイモ 五〇 キウリ 一五
サトギ 二五 チギ 二五
フジマメ 六〇 タマネギ 四五
インゲマメ 一五 ベレイ 三〇
ユリ子 三五 トマト 三〇
ショウガ 一五 エダマメ 三〇
アケキ 一〇〇 タマナ 三〇
シンショウガ 五〇 シロウリ 三〇
ハナマル 一五 ショウガ 一〇〇
アラト 六〇 アサヒ 一〇〇
ハジカミ 一五 フキ 三〇

仁川米豆取引所仲買人 齋藤榮之助 電話（サ）
仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 三巴仲買店 電話一二一・二二一・四一・二番 振替口座京城四〇二番
仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 十仲買店 電話長九〇五番 四四番八〇二番
仁川米豆取引所仲買人 大五仲買店 店主 服部政太郎 電話長三〇九番 自宅六〇一番
期米賣買之契約御引受 仁川米豆取引所仲買人 田中金兵衞商店 仁川海岸町三丁目 電話長一番 三〇番

塚原卜傳
第百六十四席 悟道軒圓玉口演

塚原小太郎長一郎の返答を聞いて居りましたが今山名監物が同人を引立て其場を立たんとするを見て『小少時お待ち下さるやう』と止めて進み寄り『小『絶ねて久しく相見されば其面影も打忘れ何者なるかと存ぜしに御身は彈正左衞門の長子阿蘇丸殿にてありしか、此小太郎を父の仇と一圖に思ひ究めしは無理ならぬ事なれど元拙者が父は土佐守勝重罪なくして御身の父彈正に討たれしかば其遺恨やる方なく、千辛萬苦の末松島にて漸々本懐を遂げたる勝義、孝あつて私なし、また彈正は伊達兵庫之助と密約なし、三好三黨と計略を通じて東國を亂し天下を奪はんとする逆心明白なれば之れを討ちしは將軍への忠功、武將への一助にして功なきにあらず、之れは天下の人の知る所にて小太郎の自讃のみではない、併し御身も善惡は兎に角父の仇を報いんとする精神は愛すべし小太郎昔日の浪人の身ならば望に應じて首を與へたけれど今は將軍の御家人たる身なれば勝義の命ながら自儘には捨てられず、往昔の豫讓は主人智伯の仇趙襄子を討たんとして漆を塗り炭を呑み、非人乞食と成下つて付狙ひしも志を得ず、遂に二度までも捕はれたり、趙氏其の志を憐んで之を殺さず追放つ、然るに三度目に豫讓趙氏の通行すべき橋下に隱れ之れを刺さんとせしに馬驚いて退きしに依つて亦もや見顯はされたり、趙氏其姿を見て涙を流し之れを刺して智伯の恨を晴らせとて着たる衣服を脱いで豫讓に與ふ、豫讓大に喜び劔を拔いて飛上り衣服を三度刺貫ぬいて『我れ主人智伯の恨みを報じたり』と叫んで趙氏の眼前にて其劔を持つて潔く自害して伏したりとか、史記にも甚だ之れを賞して居る、今思ひ當り其故事に倣ひ拙者が上着を脱いで御身に與ふるに依つて之れを勝義と思ひ恨みの刄を當て、多年の執念を晴らすが宜しからう、其上御邊の命は小太郎身に代へて申受け、佐竹家へ歸參いたさせ、彈正の名跡だけは繼るやうにいたすから』其れにて本懐と思ふやうに……』と言葉も朗らかに申聞かせ著たる肩衣を脱いで長一郎に與へました、長一郎は差俯向いて言葉もなく信長公初め一同の人々も小太郎の志を感じ、答へ如何にと見てある中に長一郎頭を擧げ『恐れ入つたる勝義殿の御言葉、元より父彈正の惡事は知れざことして父を討たれ其恨みを晴らさずしては人間の道にも背き、世間の批判も如何と存じ思ひ立たる今度の大望、さりながら只今の御理解にて迷ひの夢の覺めたる拙者、此上は勝義殿に如何で逆意のあるべきや之なる肩衣は父の仇、御恩に甘へて頂戴致し恨みの一刀加へて後、將軍御前を騷がし奉りたる大罪は身を捨て御詫申すでござらう』と思ひ切つたる決心、其面に見ゆれば信長公感じ給ひ『其れ神妙なり』と上意、監物畏こまつて繩を解くと長一郎喜びまして落ちたる一刀を拾ひ取り、小太郎が與へたる肩衣を引寄せて眞只中を一太刀刺貫き、長『これにて本望、御恩の程は生々世々忘却仕らじ、何れも御免』といふより早く返す刀を逆手に取り、我と我腹へブツーリ突立つた小『ヤレ早まるな官職』と勝義進み寄つて其の手を押へる、信長公も『監物其の者に腹切らしてはならんぞ止めい』と仰せらる、監物心得て之れを後から抱止めた、處へ稻葉伊豫守馳せ來り『稻『只今山科興正寺の上人御入來にございます』と申上げる、天子御歸依の名僧、顯如上人が來たと聞いて信長公も『何事なるか兎も角も之れへ御案内申せ』と仰せらる、間もなく顯如上人は御弟子を二人連れ給ひ此所へお進みになりまする。

釜山港頭より（中）
老禿生

◇高一八日夜航の船なき事今日には所定の時刻に間に合はず假令不可抗力の延着にもせよ何處やらに後めたき心地のせらるゝは老禿のみにては有之間敷候憲兵分隊を訪ひ證明書の下附を請ひ再び旅館へ引取り申候も今日に限り大候の氣に掛る…

◇午後七時とも覺ゆる頃行方不明なりし博愛丸も遂に進航を續くる能はず引き返したる旨電報ありたりとの通知に接し申候も矢張りイラ立つ氣分は落著き申さず夜は二時を過ぐるも眠られず蒸し暑く寢苦しき夜にて候ひき

◇九日ともなれば雨しとしと降り續き妙に嫌な天氣にて候昨夜來の入港船なきため朝發の船便なく何時まで待たば出發の出來る事やら心忙しき旅にて候大阪商船の磨丸北鮮より漸く入港せしも汽罐に故障ありて出發せず…

◇憲兵隊と埠頭とを雨中に往復しこの事にて又々落膽致候

曆
八月十四日 九星 舊七月八日 癸巳
本命 一白 北 殺方 二黑 西方

▲一白 ▲二黑 ▲三碧 ▲四綠 ▲五黃 ▲六白 ▲七赤 ▲八白 ▲九紫

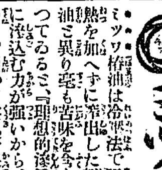
御旅館 朝日館

質 大塚質店 京城明治町二元昭町 電話一八四九
戰慄すべき火災の防備に適切なる貴重品の保管 多額の融通 御便宜を圖る

株主となる捷徑 株券が手輕に買へる
最も輕便にて確實に趣味に富たる方法にて 各株式現物販賣 證券にて低利資金融通
大連市播磨町一九 滿鮮證券信託株式會社 電話二〇二番・六五三番
京城府明治町二 京城支部 同出張所 仁川宮町

贊化病院 京城明治町一丁目 電話二四番
内科 小兒科 入院隨意 無料施療 毎日五名を限り
醫學博士 古城憲治

新荷著 懷中時計



懷中時計（▲印はラヂューム入）
ニッケル側 十八 二、五〇
同 三、五〇
ニッケル側 十七 片蓋 アンクル
懷中時計 四、〇〇
腕卷時計（▲印はラヂューム付）
ニッケル側 十三 片蓋シリンダー
金 ▲十四 ▲十三
銀側 一八、〇〇 二五、〇〇 …

新著の商品は今回無代引換代金引換小包郵便にて御注文に應じ遠隔地方の御便宜を計り候

時計 蓄音器 ミシン 機械 自轉車 洋酒 各國貨 直輸入商
インクレッシー商會 本店京城本町二丁目 電九七二

淋病 りん病 多年の消渇で困る方切手三錢送れ 妙藥を無代で致す 自宅で秘密に治る
名古屋南かじや町 武藤龜吉

ミツワ雪の雫
みつわ・ゆきのしづく

本劑は皮脂を除き、硬化せる皮膚を柔軟潤澤ならしめ、肌理を細かにし、皮膚の血行を進めて其の色を艶麗ならしめ、健全なる皮膚の新生を促すが故に、之を常用すれば、皮膚を強健清潔ならしめ、其の眞美を發揮せしめ、皮膚乾燥、龜裂、皸裂、凍傷、汗疹、雀斑、火傷等に奏効し又白粉下に用ふれば、白粉ののびを良くし、生彩ある化粧を施すに好適のものなり。

肌膚を柔軟にし色艶を麗しくする芳香液膚藥
定價 金四十錢 內地以外は關稅運賃を加ふ

（現品縮寫圖）

ミツワ花の雫
みつわ・はなのしづく

從來の家庭用香水には徒らに强烈なる香を放ち手巾衣服等に振掛くれば、汚點を殘すもの多きに反し、◎ミツワ花の雫は人を魅するが如き床しき温雅の芳香を有し、些も汚點を殘す憂なく肌着、手巾、寢具の敷布等に振掛け、洗面浴槽等に用ふれば、清凉の感を得ること、本品に優るものなく、各家庭に常備すべき優良なる家庭用肌着香水なり。

オー・ド・フラール 芳香馥郁たる家庭用肌着香水
定價 金四拾五錢 大壜七拾錢 內地以外は關稅運賃を加ふ

（現品縮寫圖）

ミツワ月の雫
みつわ・つきのしづく

優良なる品質を具備し、毛髮の衛生に適するミツワ石鹸を以て毛髮を洗滌せる後此のミツワ月の雫を用ふれば、爽快の感を得、毛髮の發育を助け、毫も之を傷め害ふことなく、色澤を艶美ならしめ、脂毛及雲脂の過度を防ぎ、榮養を良くするに特効ある美髮料なり。故に毛髮の衛生に留意し、美髮を欲するものには、實に理想的の榮養料頭髮用香水なり。

ヘーヤ・ローション 毛髮の榮養料頭髮用衛生香水
定價 金五拾錢 大壜金八拾錢 內地以外は關稅運賃を加ふ

（現品縮寫圖）

ミツワ椿油
みつわ・つばきあぶら

●●ミツワ椿油は冷壓法で强力なる水壓機を用ひ、少しも熱を加へずに搾出した新鮮純良な椿油で、普通の椿油と異り毫も苦味を含まず、平常此●●ミツワ椿油を使つてゐると『理想的滲透性不乾性油』と云つて毛髮に滲込む力が强いから、毛髮と空氣と接觸することが少く、從つて空氣が毛髮に接觸る結果、漂白と云つて、毛髮の黑い色素が段々に減り、赤毛や白毛に早く成り易い憂ひを除き、濕つたり臭氣を發する締のこことも無く、毛髮の發育を助け且つ色黑く艶を麗しくし、裂毛、折毛などの憂ひは決してないのである

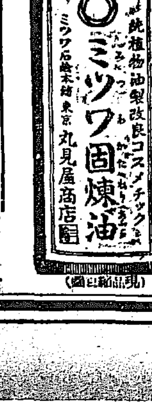
毛髮の衛生に適する新鮮純良の椿油
定價 小壜金貳拾錢 中壜五勺入金參拾錢 大壜壹合入金五拾五錢 罐入五合入金貳圓五拾錢 內地以外は關稅運賃を加ふ

（現品縮寫圖）

ミツワ固煉油
みつわ・こすめちつく

本品は最良無比の●●ミツワ椿油を基礎とし」温雅なる芳香料を加へたるものにして、在來のコスメチック或は髮附油に代用すれば、毫も毛髮を汚さず毛髮の發育を助け榮養を良くし其色澤を漆黑艶麗ならしむべき理想的美髮料なり。

本邦人に適する理想的改良コスメチック兼用髮附油
定價 金貳拾錢 內地以外は關稅運賃を加ふ



（現品縮寫圖）

ミツワブリリアンチン

本品は●●ミツワ椿油を基礎とし」之に品質優秀香氣温雅の香水を配合せるものにして振盪して用ふれば毛髮諸症の禍原を除き、更に毛髮の發育を良くし其の色澤を漆黑艶美ならしめ、而も芳香馥郁として自ら爽快の感を與ふる毛髮の眞美の發揮に最要の模範的美髮料なり

●●ミツワ椿油に馥郁たる香水を配合せる模範的美髮料
定價 金參拾錢 大壜五拾錢 內地以外は關稅運賃を加ふ

（現品縮寫圖）

京城日報

第五版

……地に産す豚毛は……大戰に際して……用せらる、大戰毛の需要激增した……方歐洲に於ける主産地たる……四川省地方……るもの約六萬四千擔其價六百萬兩にして年々增加の趨勢を示せ

發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
編輯兼發行人 小川三之介
印刷人

露國の戰時財政 (四)
政府豫算と戰爭(二)

前表の如く一九一四年度豫算に於ける歳入は二十九億六千萬留餘にして通常歳出に對し尚四億三千萬留餘の不足を告げ之に軍事費を加ふるときは其の不足額二十億八千六百萬留に上れりされば大藏省は一九一五年に於ても引續き增税を實行し茶附加税を制定し乘行税(劇場、活動寫眞館其他)を新設せしも尚國庫の財政を改善すること能はざりき其の他大藏省は資本税を下院に提出したるも休會中にて之が設定を見ざりき上述の如く新税は一九一五年に至るも續々制定せられたりと雖も國庫の收入は依然として通常支出をも支辨するを得ず而も軍事費支出は間斷なく增加せり

▲一九一五年度豫算(單位百萬留)

歳入	通常歳出	軍事歳出	差引歳入不足
二、八九八・三	三、四八八・一	八、八二五・四	九、三三五・二

國庫は一方に於て新税の收入より四億二千六百萬留を得たれども既定收入の減少及支出の劇增に由り結局一九一五年も通常支出に對し五億九百八十萬留の歳入不足を來し軍事費支出を合せ其の缺損約九十五億留に達せり茲に於てか一九一六年に至りても大藏省は尚鋭意諸税の增徴新税の設置に努め新に戰時利得税を設け營業税を新設し其の他若干消費税の再增徴を行ひ斯くして開戰以來新設せる諸税收入は相當の巨額に上りたるが獨り通常歳出に對する歳入不足は著るしく調節せらるゝに至れり然れども一方軍事費支出は尚ほ益々非常なる勢ひを以て增進して止まず即ち其の一九一六年度に於ける歳計は未だ結了せざるも大約左の如き數字を表すべし

▲一九一六年度豫算(單位百萬留)

歳入	通常歳出	軍事歳出	差引歳入不足
四、二四二	四、三三六	一四、五三八	一四、六六三

(元本記載一四、六五三・八)

前記の如き状態なれば今一九一四年七月一日より一九一六年末に至る開戰後二個年半間に於ける國庫收入の状態を通覽するに政府は其の間に於て巨額の收入を取得し得べき酒精專賣を廢止すると共に一方新税を濫設し幾多增税を斷行したるに拘らず其の收入は常に支出に對して大なる不足を生じたれども漸く一九一七年に至り漸に酒精專賣廢止に依りて生ずる通常歳入の缺陷を補充し得るに至れり

自一九一四年七月一日至一九一六年末二個年半の歳入總計　九、七〇三・二
同通常歳出計　一一、〇三五・六
同軍事歳出計　二五、〇四四・六
通常歳出に對する歳入不足計　一、三三二・四(元本記載一、七〇〇・五)
歳入不足總計　二六、三七七・〇(元本記載二六、七五五・一)

一九一六年末大藏大臣が下院に提出せる一九一七年度歳計豫算に依れば其歳入四十億四百六十萬留歳出四十億七千七百八十萬留を計上し差引七千三百二十萬留の歳入不足を示し此の外該豫算に計上せられざる軍事費百八十億留乃至二百二十億留に上るべき豫定なるも之に對する財源を有せずされば一九一七年度の歳入不足は前示せる開戰以來一九一六年末に至る國庫の歳入不足總額二百六十億留餘に殆ど等しかるべき金額に上るべき趨勢を示し國庫の財政状態は愈々窮乏の度を加ふるに至るべし

斯の如く今次の戰爭は露國の財政を紊亂し國庫資金を忽然に消費し了ると共に又露國の經濟を破壞せり即ち戰爭は鐵、鋼鐵、鑄鐵、銅、鉛、穀物、木材、獸脂、羊毛、皮革其の他幾多の物資を要求し軍備の擴張に伴ふ武器、糧食、被服等の供給は益々至難となり戰爭のため衰退せる露國産業の能く之を滿足せしむること能はずして外國より金屬、穀物、羊毛、皮革其他軍需品の支給を仰ぎ一方露國内に於ける一般物資の大缺乏は又之が供給を外國に求めたれども國民の生計は之が爲め何等の輕減を見ざりき蓋し是等の物資は戰前國民の需要を犧牲として外國に輸出せられたるものにして戰爭と共に露國の産業衰微し逆に外國より輸入を見るに至れるものなり左に一九一四年以降に於ける露國對外輸出入貿易金額を掲記せん(單位百萬留)

年次	輸出金額	輸入金額
一九一四年	九五六	一、〇九八
一九一五年	四〇二	一、一五三
一九一六年	五七九	二、七〇七

前表の如く一九一六年に於ける露國の對外貿易は二十億留餘の輸入超過を示し續いて一九一七年前半期に於ける輸入高は十一億八千三百萬留に上りたれども輸出高は僅に一億二千二百萬留に過ぎざりき之を戰前一九一四年前半期の輸入高八億一千三百萬留輸出高七億二千八百萬留に比すれば實に多大の相違なり斯の如く露國の經濟状態が今次の戰亂により直に著しき變化を呈せるは此れ一に露國政府の失政に基因するものと謂はざるべからず

兒童學の進歩 (二)

於朝鮮教育研究會 高島平三郎氏講演

斯の如く子供に對する興味は、第一に實際的方面より起り而いで感情の方面に進み、最近に至つて智力の上より理智の對象として、之を眺める樣になつて來た。即ち子供を科學的に觀察し、科學の光を以て子供を研究する事が最後に起つて來たのである。此の研究は一番遲く起つたもので、やつと百三十年前に始まつた千七百八十六年に獨逸のフリードリ、フイデマンと云ふ人が自分の子供に對する四五年間の日記を書いた薄い觀察録が抑も兒童心理學近世の發達を促したる動機であつて、降つて獨逸のプライルと云ふ人が自分の子供三人に就いて其の精神發達の状態を具に研究したのが斯學擴達の因を爲し、最近三十年間にはあらゆる方面の學者が子供に興味を有つて、研究するに及び著るしく進歩して來たのである。最も有名なのは佛蘭西のペレー、英吉利のサリー、亞米利加のスタンレーホール等で日本でも負けずに我々が研究を始めたのであるが、斯くて千八百九十六年に兒童學は遂に獨立した一の科學を設定する事が出來、茲に兒童の心身發達の状態を自然化學的に研究する學問で、此の學問は最近二十年間に長足なる進歩を遂げた。是より極簡單に斯學最近の進歩に就て申し述べようと思ふ。第一に子供の心身は段々進んで來るが、どんな徑路を辿つて發達進歩するかは最近に至るまで判らなかつた即ち心身の状態がどんな風に進んで來るかゞ判らなかつたのである東洋に於ては古來母の身體は單に借物で種は父親にあるから、子供の賢愚は父親に依る、母親は唯子供を養つて行けばよいと考へて居た。甚だしきは母の體を畑杯と言うて何か畑に物を播く樣に考へて居る。大變間違つた考へだが無理も無い。子種は父親にあると考へたのは獨り東洋許りでは無く千六百七十年に和蘭人のレーベンホーグと云ふ人が不完全な顯微鏡で子種を發見した。而も其子種を能く見ると目もあれば口もあり鼻もある樣に見たと云ふ事で、現に其物に細まで描いてある。ちやんと人間の形を具へて居る樣に考へ來つたのは無理もないが、父親に大切な子種がある事と共に母親にも同じく大切な子種がある事が千八百二十七年頃まで判らなかつた。やつと百年前に母體には卵子と稱する子種のある事が發見されて、精子と少しも違はないものである事が判つた。別に目がある譯ではない。其の卵子と精子とが會つて、始めて細胞分裂が行はれ、兩方の遺傳物質が一緒に發達し來つて茲に完全な人體が構成される事が明かになつて來たから、兩者の血統が頗る大切なものである事は最も明かになつた。此の發見丈でも大したものであるが、唯だ双方に子種のある事は判明したものゝ、子供の發育する状態が未だ分からなかつたのである。子供は如何にして育つかを研究する爲に茲に胎生學が起つて、子供の發育の順序經過を研究し、遂に人間は最下等の生物から最高等の生物に進む順序を繰返すものである事が判つて來た。生物學を學んだ諸君は疾くに御承知の如く、一番下等なのは軟體動物で之が一番始めに世界に現はれた生物だと稱せらる。次には魚類。次には兩棲類次には鳥類次には哺乳類最後に人類が現はれた。そこで魚類は或る時期に於ては軟體動物の階級を經るし、兩棲類は軟體類及び魚類の階級を經て進み、鳥類は軟體類、魚類、兩棲類の階級を、哺乳類は軟體類、魚類、兩棲類、鳥類の階級を、繰返し、而して人類は是等あらゆる動物の階級を繰返すものである。胎兒は母體に於て是等一切の動物の階級を短い間に規則正しく繰返すものであつて其の生るゝに及んでも、肉體の發達は申すに及ばず更に精神の發達に於いても全く之と同樣なる經過を辿る。面白いのは子供が母の胎内で六七ヶ月目になると全身に毳毛と稱する毛が一面生えて丸で猿と同じ樣になることであるが夫れも一月位ゐで綺麗に取れて了つて生れる時には毛は頭に丈殘つて居る。併し年を取ると私の樣にツルリと禿て了ふが、進化の點から見れば或は進んだものであるかも知れない……(笑)腦の方面から言ふとナメクジ魚杯は大腦も小腦も一向區別がない。兩棲類になると少し區別が判る。爬蟲類になると大腦は更に大きくなつて、區別がはつきりつく。鳥類になると更に大きく初めて大腦に襞が出來て面積が餘程廣くなる。人類になると更に一層面積が廣くなり、且つ襞積が多くなる。

開戰滿四年

=戰局一轉化を來す=

歐洲の大戰も今では四年になる軍國主義、領土併合主義に

△猛獸の生血 を欲するが如く暴れ立つた獨逸は國際友誼を無視して一擧露國佛蘭西を擊滅せん爲め先づ通路なる小國白耳義を蹂躙した茲に於て今迄鳴りを鎭めて遠く海の彼方から形勢を觀望しつゝあつた英國も憤然として獨逸に對戰を宣言したのは是れ恰も一九一四年八月四日即ち今より四年前の去る四日に該當する、次で二十三日我日本も日英同盟の誼に基づき獨逸と國交を斷絶し青島に水陸の師を派し斯くて歐洲大戰は地域東洋にも跨り遂に世界大動亂と化したのである凡そ戰爭は國が文明になるに從ひ期間が短縮するものと一般學者專門家の等しく斷言する所で今回の大戰の如きも早くて半年遲くも一年の後には立派に局を結ぶだらうとは誰しも考へる所であつた然るに獨逸側の猛威は何時かな衰へず經濟學者が數字上より計算して確信を以て豫言した食料缺乏も一向獨逸を苦しめる樣樣なく戰局は徒らに遷延するのみ遂には識者をして未來豫言の到底不可能なるを嘆ぜしむるに至つた然し如何に獨軍猛なりとも聯合軍の結束が固し最後の勝利の吾等にあるは聯合各國何れも充分に信じて疑はざる所であつたが時に聯合軍に利あらず英佛兩國と共に聯合軍の

△中堅となり 最大の兵力を動かし獨逸の背面を脅威牽制しつゝあつた大國露西亞が昨年三月一朝にして國内革命の渦亂に捲き込れると恰も彈機の弛める如く擾亂又革命遂に戰鬪能力を失ひ聯合國の思惑をも顧みるの遑なく急遽倉忙ブレストリトウスクで獨逸と單獨講和をすると云ふ不祥事が聯合側の不安を醸つたのである、斯て獨逸は背部に於ける憂雲全く掃はれ勢ひ舊に倍し或は伊國戰線に或は西部戰線に軍の進む所勝たざるなく遂に我等をして獨逸は到底破り得ざる國なる絶望の聲を發せしむるに至つた然るに佛方潜水艇に依つて世界洋上を暴廻つた獨海軍の國際無視的行動は彼のルシタニア事件にて北米合衆國の

△激怒を買ひ 昨秋更に米獨國交斷絶となり米の精鋭は遂に大西洋を横切り遠く西部戰線に向ひ聯合軍に助勢すると云ふ一局面を展開した恰も其時佛國に勇將聯合軍の名將フオッシュ將軍現はれ司令官の全權を握つて味方を號令したので戰況初めて一轉し第五次攻勢に於ては終始獨軍を壓迫し敵はソアソンにシャトーチエリーに悉く戰略を誤りて漸次敗退の色を示しつゝあるは是即ち大戰の推移の一轉化と稱すべく聯合軍にとつては勝利の曙光と見るべし

並行線 (五十四)

瀧 閑村

宮太郎は興津の町をトボトボ停車場へ行つた。

其眼には青い海も、白い帆も映らなかつた。カンカン照り付ける日に、額に滲む汗を拭ふのも忘れて俯向いて歩みを運んだ。

『殘念だ。』

最後の希望を懸けた此事業は見事に粉碎されて了つた。前後幾十日の苦辛は悉く水泡に歸してしまつた。遠い山の花を見てゐる後から突飛ばされて眞暗な谷底へ落ちてしまつた。何處から這ひ上らうか――宮太郎は眼が眩みさうになつて、我に返つた。

晝過ぎに悄然と我家の門を潜つたが、おのぶは出迎へもしなかつた。

上つて見るとおのぶは蒲團を敷いて寢てゐた。それと見て

『お歸りなさいまし、お暑かつたでせう。』と頭を擡げた。

『どうかしたのか。』

『何ですか、頭がぢんぢんかして堪らないもんですから……』

宮太郎は何とも云はずに自分の室へ入つてしまつた。

『何うなすつたのだらう。』とおのぶは其後姿を見送つたが、激しい頭痛は身を起すのを憚かつた。今朝おのぶは宮太郎を送り出してから、掃除を終つて洗濯をし、それを乾してゐるうちに、眩暈を感じた。竦ぶやうにして床に就いた。横になつてゐると、今朝の手紙が活きておのぶを苛んで已まない。

『さうしたらいゝだらう。』

おのぶの瞳には清康が底固になつて勞働してゐる樣が見えたり、流離した兒の佳ましげな顔が見えたりした。うとうとしたと思ふと、闇に大きな光つた眼が二つ見えた。近付くとそれは宮太郎であつた。何も云はずにぢッと睨められて、おのぶは逃げるにも逃げられなかつた。

『どうしたどうした、おい。』と呼起されて眼を開くと宮太郎が枕許に坐つてゐた。

『あゝ私恐い夢を見て……何か云ひましたか。』

『唸りにうなされてゐたから。』

と額に手を當て、見て、

『少し熱もあるやうだ、水で冷してやらうか。』

おのぶは少し身を起す樣にして

『何、今に癒りませう、貴郎、御飯は?』

『まだだが、欲しくないから。』

『さう、何も無いけれど、宜かつたら召上つて下さいな。』

『もう少し後にしよう。まア靜にしてゐるがいゝ。』

と云ひ棄てゝ宮太郎は又立つた。おのぶは宮太郎に水を冷して貰ひたかつた。自分が斯う寢てゐるのも意に介しないやうなのも恨めしかつた。藥とか醫者とか云つて貰ひたかつた――無暗に心細くなつた。

宮太郎は受けた痛手に堪へなかつた。慰めて貰ひたい妻は寢てしまつて、何の慰藉にもならなかつた。事業はどうだつたと聞きもしないのも物足りなかつた。

着物を脫いで、宮太郎は眞裸の儘室の中へドタリと倒れた。

京城府告示第八號

大正七年度京城府歳入出追加並更正豫算左ノ如シ

大正七年八月十三日

朝鮮總督府府尹 金谷 充

大正七年度京城府歳入出追加豫算

歳入 臨時部
第八款 地下埋設物調査報償金
臨時部計 金十三萬九千二百四十三圓
歳入合計 金五十三萬八千八百二十三圓

歳出 臨時部
第十二款 地下埋設物調査費 金三千六百八十四圓
臨時部計 金二十萬八千三百四十七圓
歳出合計 金五十三萬八千八百二十三圓

大正七年度京城府歳入出更正豫算

歳出 經常部
第十六款 豫備費 金九千六百九十八圓
經常部計 金三十三萬四百七十六圓
臨時部
第十二款 地下埋設物調査費 金三千八百圓
臨時部計 金二十萬八千四百六十七圓
歳出合計 金五十三萬八千八百二十三圓

意外 新事業發見
圖解 一つ無資力でも成功できる

紹介 證明書
本校卒業生……

ソロバンいらず
應用無限=活用自在
心中 速算法
忽五版を出し熱狂的大好評
獨特の新秘術によればソロバンもペンも用ひず瞬間即座に加減乘除の計算が出來る
僅か五十五錢
東京淺草 青文堂

最新刊
千葉胤香著 定價九十五錢
家庭園藝十二ヶ月 千葉胤香著 定價五十五錢
生物界と人生
印象
ダリアとバラの作り方
朝顏栽培秘訣
珠算精義
京城本町 大阪屋號 振替京城二五七三番

東海道中膝栗毛輪講
文學博士芳賀矢一、市島謙吉兩先生序文
池田秋方、山中共古、木村仙秀、角
林若樹、荒波烟厓、三村竹清、三田村鳶魚、
八太讃山、寒川鼠骨、島田筑波、各
大野靜方、齋藤扇松、樋口二葉、先生講輪
新刊 駿遠の巻
既刊 關東の巻
江戸趣味研究空前の珍書
京城本町一丁目 大阪屋號 振替京城二五七三

職工募集
熔鑛爐職工內地人參拾名募集ス志願者ハ履歷書携帶當所ヘ申出スヘし
採用條件左の如し
一、身體壯健ニシテ年齡二十歳以上三十五歳以下ノモノニ限ル
二、初給八拾錢以上
三、三割內外ノ割增金ヲ給與ス
大正七年八月
三菱兼二浦製鐵所

國末式ペント金庫

進歩せる學理と最新の機械力とにより製作せられたる……
國末式ペント金庫は人爲的破壞は勿論猛烈なる熱火と重量物の壓擊に無限の抵抗力を有するは國末式ペント金庫の本領とす
內閣諸官省御用 金庫製作所
國末金庫店
東京市日本橋區通四丁目
電話本局三八五五番
振替東一九九〇三
寫眞入商品目録は御報次第進呈仕候

恐黴菌!! 怖汚水!!
蒙宮內省御買上之榮
專賣特許本邦唯一の石濾式
各博覽會有効賞受領
內務省衛生試驗所及ビ五醫藥學博士實驗證明
完全なる除菌水濾
本器を使用すれば直に無比の良水となる
發賣元 美鈴商會機器部
東京市京橋區南金六町拾五番地
電話新橋三三五五番 振替東京四五〇〇番

◉中元景品附大賣出し◉京城仁川市中に限り◉

◉東亞煙草の大提供

▼賣出煙草
ウエルスニーボールに付 景品券一枚進呈
ダリヤ
ヘルメット
百圓
一ボールに付 景品券一枚進呈

▼賣出區域
京城、仁川市中に限る

▼景品種目
一等 大長形上等掛時計一個宛 三本
二等 黑革製手提鞄一個宛 一五本
三等 上等メリヤスシャツ一枚宛 四五本
四等 三ツ輪石鹼(大)一個宛 三〇〇本
五等 ライオン齒磨一袋宛 一、五〇〇本
六等 郵便葉書一枚宛 九、三三七本
●空籤一本も無し番號は各符號共通●

賣出期限 自大正七年八月廿三日 至同年八月廿五日
抽籤月日 九月二日 於明治町東亞煙草會社朝鮮總販賣所
景品引換期限 自九月三日 至九月九日 但し日曜祭日を除く
景品引換場所
京城明治町 東亞煙草朝鮮總販賣所
仁川新町 官煙販賣組合

注意 期間中と雖も豫定に達せば締切可申候
景品引換期限後は絶對に引換謝絶可仕候

東亞煙草株式會社

◇歩兵先頭部隊 愈浦鹽上陸

陸軍省公表＝露領沿海州に派遣されたる師團司令部歩兵旅團司令部先頭部隊は十一日浦鹽に上陸せり（東京至急電報）

◇中山覆審院長　歸省中の中山大邱覆審法院長は十二日朝釜山着直ちに歸任の途に就けり（釜山特電）

◇事務所長更迭　島崎長春地方事務所主任は奉天に轉勤し山内領事新に長春事務所々長を囑託せられ遼陽の主任は所長次席として來任する事に決せり（長春特電）

◎聯軍追擊急速 獨軍頗る苦戰

聯合軍の追擊益々急なるが爲流石の獨軍も之に敵し能はず漸次その陣地を撤退して今やヴェール河の線に聯合軍の鋭鋒を支持しつゝあるも佛軍は既にセルモアーズ及びフィスム間の諸地點より河を渡り米軍亦フィームシュアゾン間の渡河に成功せるが如く獨軍は甚だ苦戰の狀を呈せり

▲今次の退却は豫定の行動に過ぎざる可しとの當初の觀察は正鵠を失したること今日に至りて一般に周知されたるが是全くフォッシュ將軍の畫策宜しきを得たる結果なるは勿論米軍の來援亦大に與つて力あり聯合軍が從來の敗因は悉く協同動作の完全に行はれざりし爲にして統率權の分立は戰敗を招くの免れ難きこと明瞭となれるを以て斷然其弊を一新するの擧に出でたる以來聯合軍の形勢漸次良好となるに至れることに疑ふ可からざる所なり加ふるに優勢なる米軍の參加せるは大に聯合軍の士氣を振興せしめたるのみならず

▲米軍の勇敢なる戰闘振は眞に世界の注目を惹くに足るものあり之に反し獨軍は最近の戰況自己の不利なるため將卒の意氣頗る沮喪せるを否定し得ざるなり最高司令部にては極力全軍の士氣を鼓舞せんことに努めつゝあるも其効果甚だ尠きが如く聯合軍の爲め俘虜となれる者已に七萬以上に達し鹵獲されたる砲亦一千門を超へたりと傳へらるされば死傷者の如きも二十萬乃至三十萬を算す可く聯合軍の損害亦素より尠少ならざる可しと雖も獨軍の敗北は爭ふ可からざる事實にして其苦痛察するに餘りあり目下の形勢に依り察するに戰勢は尚大に發展す可く聯合軍の速かなる進出は獨軍の全く意外とする所にしてヴェール河の線に

▲必死の抵抗を續けつゝある敵は早晩再び全線の退却を行ふの已むなきに至る可くシアソンの陷落は戰線を著るしく後方に變更せざる可らざるの形勢を招致しノアイオン附近よりエーヌ河の線を經てラムス北方の高地を構築し殊にエーヌ河の北岸に於て聯合軍の前進を阻止せんとするの企圖に出づ可く巴里砲擊の爲に準備したる幾多の諸材料は或は遂に聯合軍の爲め悉く鹵獲さるるに至るやも知れず今や獨軍の窮狀漸く大ならんとするに反し聯合軍の戰勢大に振はむとするは海に疑ふ可き所なり

◎北京政局混亂 同床異夢の象

支那政局の最近における形勢は天津會議を中心とし大總統改選問題に對する種々なる暗中飛躍行はれつゝあることは既報の如くなるが安福俱樂部は既に會議に依り客月下旬曹錕を勸誘し南下せしめ以來天津にある曹錕を促し南下せしめ馮派の勢力を減殺せんと期し徐樹錚侯李等をして屢々天津に下し曹錕を勸誘する所ありしも曹は豫期の如く南下するを肯んぜず安福俱樂部折角の計畫も遂に全然失敗に歸せり茲に於てか第十徐樹錚は奉天督軍張作霖の

▲副總統就任　希望あるに乘じ曹と會見せしめ正副總統問題を議せしめんとて八方暗中飛躍を試み僭こそ張作霖の總選天津行となり卒然として倪嗣冲、張樹芝等を招集し今次の天津會議となりたるもの、如し然るに天津會議の大勢は何等の議決もならず遂に所謂折衷案として段祺瑞を副總統たらしめ以て曹錕張作霖兩氏の感情を融和するに努めたるも之の結果は全然當初より徐樹錚一派の豫期する處にして段派の大成功裡に其の結果を見るに至れり曹、張作霖兩氏は叙上の關係上表面反對の理由なきも之れ決して兩氏の本意に非ざれば將來曹、張兩氏が

▲討南方策　に對し其全力を用ひざるも當然なるべく觀測せらるゝ亦一理ありと云ふべし然るに一方議會に於ける形勢は表面安福系の優勢に歸し議員總數三分の二以上の議席は安福系に於て之を占め居れるが如きも是は只ゞ見上の一時にして眞に此議員全數を結束せしめんには尚巨額の買收費を要する事火を睹るよりも明かなり況んや安福系と提手せし交通系が早くも安福系と分離せるものあるのみならず王揖唐、徐樹錚間に同床異夢の象ありて徐は專ら段祺瑞の爲めに王は極力徐世昌の爲めに奔走するが如き觀あるは容易ならざる

▲暗流と云ふ　べく果して今後王、徐兩氏の提携持續すべきや否や多大の疑問たらずんば非ず更に翻つて馮總統の近狀如何と云ふに外聞にては馮氏辭すべしと稱し全然傍觀し居れるが如きも曹錕との間には尚秘密の往來絶へず最近の報道せらるゝ一說に依れば百萬元を以て研究會系を買收し選擧會に臨み一擧馮國璋を副總統に擧げんとの說ありて兎も角時局の大勢は徐世昌の大總統たるには馮派たると段派たることを問はず異議なきも段祺瑞の副總統說には北洋派中にも

▲反對する者　もあるの外馮派の如きは絶對に之を阻止せんと期し居れば來る八月下旬開催せらるべき大總統選擧迄には各派各方面共に盛んなる暗中飛躍を見るべく段内閣の前途は副總統問題を中心として益々暗澹たるに至るべく觀測せらる（北京）

◎米狂騰阻止策 某消息通談
奸商に鐵鎚を下せよ

米價の狂騰は一般人に著るしき苦痛を與へ曉唉の聲は間に喧しく内地に於ては一揆暴動起り又は米放賣に對する示威運動等あり不穩の形勢を呈し居れるが而も米價は依然として下落するに至らず

▲今尚ほ先高　なるを豫想されつゝあり我朝鮮に於ては未だ内地の如き不穩の形勢を呈し居らざるも今にして尚ほ米價の狂騰底止する所なきに於ては將來寒心に堪へざるものあり由來朝鮮に於ける米價は常に内地相場に隨伴す今回騰貴の如きも獨り朝鮮として別個の問題に非ざる事は何人も知る所なり而して内地に於ける米價の狂騰を來せるは全く内地在米の不足に起因せるものにして在米の不足は收穫減少せるに起因す然らば何が故に收穫減少を來せるか是れ西歐戰爭の影響を受け西歐地方に於ける穀作の減少は著るしくパンの原料たる

▲麥粉に缺乏　を來せるに因る即ち麥粉の輸出が近來俄に有利なる事業となれる結果政府は過ぐる年に於て小麥の植栽を獎勵し盛んに麥粉として海外に輸出せるが之を食糧と云ふ見地より見れば米作減少大麥作減少なる事實を謂見するのみにて結局國内に於ける食糧は大に減少せる結果を見る乃ち在米不足を告げ米價は昂騰停止する所を知らざるの現象を呈せり其の結果延いて我朝鮮に影響し來り内地米界に伴れて日々米價の狂騰を見る誠に迷惑至極と云はざるべからず斯くの如き狀勢に在る鮮内の米界に於て尚

▲奸商の手に　依り暗々裡に買占行はれつゝあるを見れば既に議論の餘地無く正に實行の秋なり即ち目下尚在米の買占を敢てしつゝある某々奸商等の頭上に大鐵槌を下すべきなり而して彼等をして復起つ能はざらしむるは適當せる米價の狂騰を阻止する唯一の手段たるべし日今米價の狂騰を阻止する方策としては禁輸、在米放賣、奸商取締　價格公定の四方法の外に出でざるなり大に考ふる所無かるべからず

◎滿鐵の鐵道學校計畫

鮮鐵收益金の處分案

大正六年度滿鐵京城管理局收益金は所報の如くなるが右費途に就き京城管理局の意嚮を聽くに今回の京城管理局收益金六十五萬九百餘圓は所定の納入金を總督府に納めし

▲所得利益　なれば勿論費途は會社の自由なるが會社の方針は過般の當紙に報ぜられし如く朝鮮に投ずる豫定にて適當の事業を物色中なるも僅々六十餘萬圓の限ある利益に對し其の費途は十指に餘り目下之が選擇中なるが先づ計畫に着手せるは鐵道學校の創設なり該校は其の建設費豫算約三十五萬圓毎年經常費豫算は十萬圓なり而して此の目的は鐵道

▲從業員の　養成にあり運轉運輸機械土木の各科を置き卒業年限を三箇年とし各級を通じて生徒總數約四百名（初めは百人位）とすべき豫定なり學校の性質より云へば岩倉鐵道學校の如きものなるも彼と異なる點は岩倉は卒業生を他に給するに反し會社の創設すべき學校は卒業生は殆んど全部を會社に自給する目的なれば生徒と鐵道とは密接の關係を有するを以て父兄の在鮮者にして終身鐵道從業員を希望する者且つ比較的貧困者と雖も内鮮人を問はず成績佳良なる者を選抜の上入學せしめ學資は凡て貸與し此の償却法として

▲義務年限　を定め師範學生の如き方法を採るべく以て鐵道從業員として有爲の材を育成し一方鮮内教育上に聊か貢獻あらんを理想とするものなり尚私立學校の認可も受け職員の招聘校舍の建築其他の諸準備あれば始業は來春よりの豫定なれ共少々は遲延を見るやも測られず

◎京鐵面豫算

大正七年度京畿道面豫算額は合計四十八萬三千二百四圓にして其の内譯左の如し

▲歳入の部

▲賦課二十八萬零九十二圓▲財産收入一萬三千六百一圓▲使用料九萬八千四十四圓▲手數料二千三百二十五圓▲交付金二萬四千六百三十六圓▲雜收入四千百二十七圓▲繰越金四萬一千三百卅六圓▲補助金七千百九十圓▲寄附金六千九百一圓▲過年度收入二百四十二圓▲財産繰入三千二百五十七圓▲合計四十八萬三千二百四圓

▲歳出之部

▲財産管理費四千七百六圓▲雜支出六百五十七圓▲寄附金三千三百二十九圓▲財産買入費二百圓▲返償金一千四十五圓▲報償金五千六百六十七圓▲豫備費一萬三千四百四圓▲合計四十八萬三千二百四圓

◎朝鮮產金激減

本年朝鮮產金は採鑛費の激增により不引合廢業者少からず產出未曾有の不況を呈しつゝあるが一月以降七月までの輸移出數量は三百六十五萬圓にして前年の五百五十萬圓に比し百八十五萬圓の減少を告げ居れり

大阪より
▲小麥粉奔騰

原料小麥は益々高値を唱へ二十六七圓を呼ぶに至りたるも手持筋は思惑旺んにて賣惜むと共に進んで小麥粉の買付を爲す爲め原料小麥は市場に出廻りなく製粉會社は已むなく高値を買漁るも尙需要を充す能はず爲めに小麥粉は奔騰する一方にて五圓五十錢と一躍五十錢を突飛し尙ほ氣配强調なるが前途益々强含みにて昨年の高値六圓を突破すべしと觀測せられつゝあり

▲皮革界愈沈滯　三月頃より沙滯し來れる皮革界は二週間前稍引返さんとする形勢を示したるも此は當業者の窮餘の一時的糊塗策に出づるものにして露國向輸出の杜絶と且つ支那方面の註文依然として振はざるを以て又復沈衰し昨今牛皮（生）三十八錢を唱ふるも需買手なき狀態にて各店頭には滯貨品山をなせり若し對外輸出の狀況此の儘持續せんか皮革界は最後の倒壞の外なしと稱へ居れり

▲骸炭事業有望　當市骸炭製造業は從來の姑息的製造業者に止め而も姑息製造業者も僅に二三箇所にて製產量も頗る微量唯需要を漸くにして充たし得るに過ぎず然るに近時銅製鍊等の事業勃興せる爲め需要激增したるを以て製造に汲々たるの狀態なれど此際骸炭製造事業を經營するか或は他より輸移入するに於ては因つて利する處多大なるべしと

▲鰹節引締　鰹節は昨年不漁の爲めヂリ高步調を辿り來れるが昨今秋漁を控へて買物旺々ありしが爲めに市況は益々引締り最近何れも五八十錢方の騰貴を示し目先は此邊にて暫く持合を持續すべきかと

▲工業藥品手堅し　一時三十圓臺を拔き其後漸落步調を示せし重曹は最近逐次引緊り氣味を示し昨今二十四五圓見當を唱へアラビヤゴム亦漸く活況を示し來り上物六十五六圓摑みにて商談進捗し居れるも夏枯時期に際せることとて取引行はれざるが目先は尚强含みの商狀によれり

▲雞卵益々高し　雞卵は減產と賣行良好の爲め逐次高を示し現に昨年の最高値を上廻り居れるが最近又復約一割方の昂騰を示し昨今廣州物十二圓八九十錢見當なり右は先般の上伸に依然頑强なりし面に於て一部商人の先高見越による手持品多く市場に出廻らず多少の騰貴を受くる懸念は目月末接近の關係にて目先手控へ模樣なれば此上大なる變動なかるべしと

▲滿洲小麥輸入難　本年小麥豐作見越と古品殘存せる爲め先安豫想にて產地六圓十錢位を唱へつゝあれば出來する模樣にて大連糧戶間の船腹もあれど產地に於て○○運送の爲め輸送困難の狀態にあれば大連への出廻りなきを以て自然内地への麥物の輸入は不可能ならべしと（大阪支局）

◇關西各地 米價下落

兵庫、大阪、京都の正米は齊しく三圓安を唱へ大津五圓、和歌山は釣瓶落しに十圓暴落し其他期米一齊に安値を告げたり（十二日午後六時大阪發至急電報）

◎軍務御精勵 李王世子の御近狀

眞夏の熱、砂礫さへ燒れよと許り赫々と照りつくる日光、電車の中はそんなに感じもしなかつた。三河臺町の停留所で降り直に右に折れて行く事百歩足らず、右側に嚴めしい衛兵の立つ宏壯な邸がある是が李王世子殿下の御邸だ。目下殿下には御不在中だとは知りつゝも、せめてはお留守居の方から御樣子なりと刺を通ずる。門を入ること一歩、行儀よく敷きつめられた小石、蒼々と茂る樹木、それ等が悉く嚴格の趣を見せる。玄關から應接間に案内されて與へられた麥湯で渇き切つた咽喉を潤ほし、玉の汗を拭きもつて居ると間もなく入つて來たのは林屬官だつた。愛嬌のいゝ屬官には坐ろ快く感ぜずには居られなかつた曰く

◇殿下には先月の二十五日から千葉縣の下志津の演習に從軍せられました、二週間の豫定ですから八日頃には御歸邸になりませう、演習地の事など詳しい音信に接しませんので少しも分りませんが、隨分御難儀なことゝ拜察します。富士の方だつたら涼しいかも知れませんが下志津の方は非常に暑い所だつていひますからね、それでも

◇日中だつて休はないんですから。日常ですか、それは軍務御精勵といふより外はありません。毎朝七時半に御出邸になるのですから五時半かおそくも六時には御起床遊ばすのです。御歸邸は四時半か五時頃です御入浴から御食事がすむと七時になりますそれから九時迄二時間といふものは必ず

◇學科の御勉強から翌日の日課の御調べがあります。毎日是れだけの事を御繰返しになるのです。ナカナカ今の所外に御樂みなんかは一切ありません。御新築ですか夫は只殿下の御居間で今迄が少し狹かつたからです（東京支局）

◎鮮銀浦鹽派員　朝鮮銀行の浦鹽派遣員横山直世、股野貫之氏等の一行は十三日朝南大門驛發列車にて元山經由浦鹽に向ふ可し

◎白石參謀長挨拶　新任第十九師團參謀長白石大佐は十二日朝總督府を訪問し前任の挨拶を爲せり

◎久保京管局長歸任　長谷川總督出迎への爲め釜山に赴きたる京城管理局長久保要藏氏は十一日夜歸任せり

◎三試補見習と轉勤　新任試補世能義邦氏は總督府内務部に同上中村能基氏は同官房總務局に於て事務見習を命ぜられ又下村試補は慶北支部に轉務を命ぜられたり

人事消息

▲齋藤金藏氏（滿州銀行頭取）十二日入京京城ホテルへ
▲神原多吉氏（中村組店員）同上天眞樓
▲吉田龍次氏（東大文科教授文學博士）十二日巴城館に向宿滯在中
▲宮原忠有氏（農業試驗所長）十二日退京
▲藁原英之助氏（千葉縣立佐原中學校長）同上
▲久我晋氏（鮮銀釜山支店長）同上
▲足立丈次郎氏（東拓殖產課長）東洋畜產會社要務の爲め内地へ出張中のところ十一日夜歸京

鳥瞰雜俎

西部戰線の戰況は益々聯合軍に有利である▲獨軍の退却で聯合軍に所謂得意の野戰を試みようとする作戰であるかの樣にも見えた▲又獨軍は陣地が聯軍の中央突破を敢行して居たのだから萬事に不利益に陷入つて戰線整理の爲に退却を敢てするのではあるまいかとも見られた▲が其後の戰況より見ると何うも其等の何れもが相當に綻びさうなから結局だ▲つまり獨軍の戰闘力が愈々漸次衰へて來た事を說明するより他にない▲土耳古は既に落伍し墺匈國の滅亡は之れも最う時日の問題となつて居る▲聯合國には新に精銳の米軍が着々參加し無盡藏の富を有する米國が財政的後援をして居る▲最早戰爭の大膽も決著が充分推察される事となつた▲最後の五分間は聯軍に有利であつて獨軍には非常の不利を示して來る▲西伯利で如何に獨墺俘虜軍が跳梁したつて最う獨逸の思ふ樣に活躍は出來まい▲獨逸帝は相變らず隨分益の好い講和條件を云つて居るが▲彼れは痩せ腹抱へて徒らに高言を吐いて居る中に其の懷具合が見ゑ透いて居る幕だ▲西伯利出兵も獨逸が弱り込んでは此方の入れた力瘤も何うやら力拔けが仕相だ▲ヒンデンブルグもチト西伯利へ出掛て來て最う一と腕振つては何うだ▲マッケンゼンも取紛けて何處に居るかも知れない

□電報延著　東京方面の電報は既報の如く輻輳延著のため大部分は本紙締切迄に到著せず

◎生糸漸次昂進

生絲市況は遂に五十圓安の[illegible]

◆十圓方の小締

九日は内國向の需要俄勢なるを依然冷調を持し高値警戒の態度を[illegible]り越に買進まれたり併し午後輸出向は[illegible]するも從來の如く敢て買り焦慮らず泰然時機の到來を待てるは蓋し横濱市場として珍らしき現象と云ふべく[illegible]て一般に買り急がざること（三）本月は需盆二月離れの盆ありて[illegible]

▲工場休業の爲

[illegible]

[illegible]れずと觀測さる（北京）

◎米國の錫節約

[illegible]

◆各地白米値段

[illegible]手なし奧地には品多數あり（京城支局）

◎筆生募集　自宅通勤隨意
字を能く書く確實なる男女五名本人履歷書携帶至急來談あれ
京城長谷川町五八　朝鮮製藥合資會社　電話一三〇九番

日本獸醫學校　生徒補缺募集
◆本科一年（高等小學卒業者）特典徴兵猶豫其他◆願期八月末日迄
東京市外下目黑　規則要郵券二錢

割增金當籤廣告
一金貳千圓也　本月一日抽籤第六十三回　第四〇二壹〇番　新義　町井安吉殿
右ハ勸業債券三當籤ニ付廣告ス
年月賦契約中
報國公債株式會社朝鮮支部
京城府黃金町百六番地　電話長三〇一一番　振替京城六五九番

新荷著
鷲印兩面版は定價より五拾錢引賣枚　金壹圓二十錢
京城本町二丁目廿九番地　日本蓄音器商會
電話二八三番　振替京城六八四番

上工用具並ニ建築金物
八角鋼、黑鉛用金網、眞鍮物製作
地方御註文は迅速に御便宜計り可申候
商品御入用の節は御一報被下候はゞ直に御參附可申上候
京城本町一丁目　直輸入商　佐野彥藏商店
電話二六三番　振替京城二一〇番

◎眼科專門　荻原醫院
□入院隨意□
京城府明治町二丁目五十六番地　電話貳貳六七番

最新　朝鮮地誌　上中下
回本書は本社發行朝鮮滿蒙叢書の一部として發行せるものにして朝鮮地誌上中下三冊として朝鮮地誌大全とも稱すべきものなり
回本書は朝鮮十三道十二府二百十八郡二島二千五百十二面に就て最新の材料と最も正確なる調査資料とに依りて本社々長釋尾旭邦自ら編輯に當りたるものなれば世間自ら定評あり敢て自家吹聽を待たざるなり
回苟くも朝鮮を知らんとするものに取りては本書は唯一の指針なり
■恐く朝鮮地誌としては最新のものにして其詳しきこと本書の右に出づるもの無きことは斷言して憚らざる所也
又朝鮮各道を旅行視察せんとするものに取りては本書は唯一の好指針にして確實なる好案內書なり
◎定價　一冊二圓　三冊六圓　送料二十四錢
發行所　京城南山町一丁目　朝鮮及滿洲社　振替京城一二三

藥草　淫羊藿（いんやうかく）エキス
定價　二十五入金壹圓　三十五入金壹圓五十錢　四十五入金壹圓九十錢　五十八入金貳圓三十錢
送料　鮮內二錢　鮮外三十錢

淫羊藿は古來有名なる藥草にして之れを服用する時は靈妙なる効驗ありと支那朝鮮兩國人に愛用せられしが產出地方に限られて彼の高麗人蔘の如く廣く用ひられず普く知られざれども其の効驗は遙かに人蔘を凌駕すとて醫家の重用する所なり今や醫院試驗所乃至藥劑家に於て研究中に屬し未だその成分は發表なきも强壯劑として將亦精力增進劑として有効なることを認識されたり加之本劑は東醫寶鑑其の他の醫書により其の効能の顯著なるは明白なりと雖も何如なる成分が人體に有効なるかは彼の神秘的なる人蔘と同じく明白ならざるが故に姑く疑問の解明を將來に待つ外なし併して之れを社會に提供するに至りしは其の實驗上斯かる有効なる藥草を一地方少數人士の使用に限るは國民保健上大なる損失と思料し精選したる原料より經驗に富める藥劑師をしてエキスとなしたるものなり

主效
一神經衰弱症　一胃腸病　一ヒステーリ
一貧血症　一腦病　一ヒポコンデリー
一腎臟病　一生殖器病　一老衰
一腰痛　一リウマチス　一精力減退

服用上に依り適應症左の如し
一、精力を盛んにし精神を爽かにし體力を增し元氣を良くす
二、思考判斷及記憶力の減耗を癒す
三、讀書計算の疲勞を癒す
四、安眠し永眠の疲れを癒す
五、筋骨の疼痛を癒し又疲勞を恢復す
六、消化及便通を良くす
七、產前產後及病後の衰弱に良し
八、血の道氣鬱症に良し
九、子なき人に良し
十、貧血虛弱を癒し發育を良くす
十一、手足腰の冷ゆるに良し
十二、陰痿遺精及子宮病に良し
十三、夢遺に良し
十四、長壽なるべし

用法及服量　一日半グラム乃至一瓦を温湯に溶解し若くはオブラートに包みて飲用す
注意　空腹の時飲用するを良しとす。エキスは香氣苦味を帶有すれば葡萄酒にて呑下すれば樂なり。本劑は少くとも一ケ月以上繼續して服用すべし然らざれば効果少し六ケ月以上に至り効能特に顯著なり半グラムは小豆大一グラム大豆大なり

▲本代理部は御承知の方へは前金にあらざるも送品可仕候得共成るべく前金（京城日報代理部振替京城三〇〇番へ拂込み通信欄にて御注文の事）にて御申越被下度候然らざれば代金引換便にて御送り申候に付御損と相成可申候
▲價格五十圓以上一時に御注文の方へは一割の特別割引を可致候
▲本藥取次販賣の御希望有之候はゞ御相談可申上候
全國一手販賣　京城太平通り　京城日報社代理部
電話長六〇〇九番　特內十八番・振替京城三〇〇番
京城特約店　山岸天佑堂　北島支店

[illegible]……に四十圓臺の上一番二十六百圓丁度……著るしく樂觀的傾向を帶……商談杜絕……齊に買ひ進むの傾向なるを……結局相當の高値を出現するやも知つゝあり……る事徒つて自動車を初め幾多の……且其の地方の赤十字支部へ寄附し……地玄米二十圓にて買値下す▲釜山一等白米一升四十九錢……[illegible]

◇一千俵の米が來た　無い〳〵と言はれた米も蔵を開つて見れば案外に澤山で十二日の如きは一千俵からの難殺があつたこと夕刊所報の通りである寫眞はその一千俵を倉庫に運搬してゐるところ

○糊を常食として

▽……露命を繋ぐ者のある露都

◆……眞の暗黑界と化し……過性的の慘狀を呈して居る

露都化したペトログラードから生命辛々四十幾日間を費やして脱脈の西伯利鐵道を乘越し上海行の途次神戸に立寄りたる米國運送業アメリカン、エッグスプレス社員トムソン氏は往訪の記者に語りて『自分の會社は世界一の運送業者で資本金千八百萬弗列國に一萬の支店を持へ神戸には未だないが橫濱には昨年支店を置いた所で英斯科及びペトログラードの支店は戰前迄は米國行の貨物は勿論西歐行の諸貨物の三分の一は兩支店で取扱つたものだが

◇革命後は何も彼も混沌狀態に陷つたので露都の如き營業が全く出來なくなり今春ヴオログダに避難した米國大使等の旅具家材を取扱つたのが營業の打切りで支店員は全部引揚げ自分は殘務整理の爲に今日まで居殘つてゐたものであるが只今の露都は眞の暗黑界と化し

◇佛國革命前後の光景に過性の一語を附加へた樣な慘狀を無別に呈して居るのだから堪らない、天地が全く所謂、混亂りて逃後れの貴族は立ン坊に豹變し無頼漢の親分が分捕成金となつて威張り散らして居る帝政時代の官吏や軍人には新聞賣子にまで落魄したものがある而して法令が支離滅裂となつて居る爲にレニン政府は稅金取立ての標準がつかず貴族、富豪の資産を

◇片つ端から沒收して了ヽを政府の用途に充てゝ居るのだから無論、継續の見込がない、にも拘らず過激政府が一般愚民に持て囃されて居るのは表面上敢て掠奪勝手放題と云ふ鬮出しはないが事實上財產半分主義であるから多數の勞兵共には至極好都合だ既に十二代も續いたネプスキー、プロスペクトの某豪家の如き麥粉を買占めたと云ふので銀行の

◇預金を全部差押へられたる上に家產沒收に逢ひ主人はネワ河へ投込まれて溺死を遂げた某太公爵の姬君の部屋へ泥醉の勞兵が亂入して裸踊りを演じたと云ふ樣な挿話が山ほどあるソレに迫つての大困難は食料の大缺乏で貧民は粉殼や草を煮て露命を繋ぎ中流以上の者にも糊を常食してゐる者が多々ある、麵麭屋は

◇原料拂底の上に危險だから店を締切り穴倉にでも貯藏したる食品を噛じつて其日を過ごして居るソレが見附かつて麵麭屋や食料品商が酷い鑑目を見た者も多いサンドウイッチ一枚が一留砂糖一斤が四十八留林檎一個三十留など露國人は誰も信じまい露國は既に滅びたが再び滅びる時期が必ず來さうに思はれる、西伯利亞鐵道もオムスク迄は

◇如何やら斯うやら通じて居たがオムスク以西は全く亂脈で百八十露里の田舍道を自分はドロスケ馬車を雇ひ大枚六百留を費して生命辛々旅行したこともあつたが米人と云ふ人種的差別のお蔭で勞兵共や赤衞軍からも左したる迫害を受けずに四十三日を費して浦鹽に安着したのは勿怪の幸ひであつた、之が

◇若し他國人種であつたら或は此談話も出來なかつたかも知れぬ』と氏は慘澹たる實見談を述べたが其口裏から推察すると露都の現狀は噂以上に悲慘なものらしい(神戸)

○電車從業員の增給要求の其後

◇午後六時半の會社役員責任ある回答如何◇

夕刊所報京城電氣株式會社の電車從業員即ち車掌運轉手の勞金增給運動の其後の經過を聞くに、元來此の增給運動を起すに至りたる近原因とも言ふべきは同社の工場勤務の朝鮮人職工は先頃一般に日給十錢內外を增給されたるに俄然從業員なる運轉手車掌等に增給せざるが偏頗なりと言ふにあるもの、如く右に就て『一同は十二日午後六時三十分迄に責任ある會社の役員より確固たる返答を求むる旨申込み置きて從業し居れり』と某補助監督は語り此事件に關して鍾路警察署を訪問して細崎署長と善後策を協議中なりし

△木本專務曰く　運轉手や車掌の給與は升座に較いことはない、精勤すれば月收が運轉手十九圓車掌が十七圓にはなる筈だから騷ぐ程のことはない筈だが何樣近來の米價が破天荒に騰貴したもので以前よりも幾らか生活難の傾向は免れまい、夫れで此の際安價な外米でも買ひ込んで是等の從業員に分與する事に致しませうと又東大門內の電車課に

△村尾課長を訪ふて意見を聞くに曰く別に同盟罷業の行動に出た譯ではない只前日の從業員と十二日の從業員とが午前十一時頃交代の際に暫く相談をし合つた爲め一時間ばかりを空費した、其の結果代表者から幾分の增給を申込んで來たが一同は直に夫れ夫れ業務に就いた、車掌と運轉手の給與は之れを巡査補に比較すれば餘程割合がよく、最初は巡査補と同額位の收入であるが六箇月を經過すると電車從業員の方が三圓ばかり月收が多くなる勘定になつてゐる、夫れに昨年頃は一時間三錢の賃金が今では三錢五厘に增されてゐるから會社の方では餘程與額が殖えてゐるけれど一般從業者の方では夫れがよく判つてゐないらしい併し何とかおさまるやうに取計らはねばなるまいと考へてゐる

▼會社側の回答は三日の後　小松崎主任の懇諭に服從して

前記十二日午後六時半を期し會社側よりの回答を得べく定刻と共に多數の車掌運轉手等は東大門內電車課構內に集合し緊張したる面色にて確答如何と待ち構へたるが電車課にては村尾課長不在のため車掌運轉手係主任の小松崎氏より一同に對し懇諭する所あり

◇其の結果　主任より回答期日を一週間延期したき旨述べしに一同反對したるも結局三日間延期することに一同承諾し主任の熱心なる說諭に依りて少時停車したるのみにて平日同樣運轉を繼續することに至れり一部强硬派は猶も踏み止りて三日後には罷業すべしと云ふ證據の一札を渡し呉れと申出づる所ありしも穩健なる主任の態度に服し夫も

◇遂に中止　して從業せり車掌等は曰く『賃銀値上は三割を要求したのですが其の手段として電車の運轉を中止する位のことは譯もないことながら一般公衆の交通上に非常に迷惑へること、思ひ一先づ罷業することは止めました』と尚一同は十二日夜終業後午前二時頃車庫內にて協議すべきことを申合せたる由(十二日午後八時記)

○滿鐵工場員も申出づ

會社にて米を廉賣する事
＝として事件は落著す

龍山鐵道工場の從業者七八百名は米價狂騰の折柄從來の賃金にては到底活計を立つる能はずとの理由の下に十二日代表者を通じて增給を申出で若し此の要求にして肯かれずんば同盟罷業をも決行し兼まじき不穩の氣勢を示したるより斯くと見て取りし當業者は大に驚き百方鎭撫の末會社より若干の補給を受けて米を買入れ之を廉價に提供する事とし直に實行したるより從業者は會社の措置に滿足の意を表し再び元の平靜に復したりと

○京阪の外米賣出し

京都にては十二日外米一升二十一錢にて賣出せり又大阪にては十二日より十一箇所にて外米一升二十錢にて賣出せり(大阪特電)

◎米の値を知らない女中

―紹介所のまねき猫が招くにも人がない―

△未だ米の騰つた影響は見ないが……

米が先達てから馬車馬の樣に騰るばかりであつた昨今、その影響がどんなものかと旭町の山口、本町の中川、明治町の萬年社等の口入屋を訪ねて見ると、帳場格子のまねき猫が、どこの店でもさびし相にチヨコナンと坐つて、それでも眞向に手まねきをしてゐる後に、旋風器が我物顏に獨りうなつてゐる、所謂玄人の藝娼妓には勿論、女中、御飯たきらしい人の影も見せない店頭で、店の人は語る、

◆忙がしいのは電話許りです何にせ一日に尠なくて三十多ければ五十の御申込ですから、處が御覽の通り人つこ一人店には居りは致しません、拂底だと云つてこの位拂底な事は無く、五十のお申込みに、お話の出來るのは一人か二人、まあそんな平均でせうか。

◆××さんの處などでは十歲になる小さい娘さんが電話に掛ることにして、千變一律『いゝのがあつたら上げますから』と返事をするんだ相で、お申込のお處はとんと聞かなかつたよ、で濟んで仕舞ふ相です、まあ、そんなものですね、相場は女中さんで普通が七圓それが

◇諸物價が騰つたので一圓値上しての八圓位、少し縫針が出來れば十圓です、それでも無いものはなく、お顧客樣から高いのは二圓でも三圓でもよいからと仰られて辛い思ひをする事があります、そんな譯でまたお米の騰つた影響といふ樣なものは解りませんが

◆若し、二人の女中は一人、一人は止めと云ふ事になつても昨今の樣に內地からは、それこそ一人も來ず、それ許りか親から歸れと金を送つて來て勸めて歸る者ばかりのこの頃、また藝妓、女拂底は止みますまい、玄人の方は尙更で、花柳界の景氣がよいからでなく無いからで少し綺麗でさへあれば千圓は樂な相場ですそれも一人に三四人の口が掛つての引張凧です。

◇それに女中さんでも多い時には出替りも多いのですが、この程は殆ど居ついて仕舞ふので、一日電話番をして一人や二人では私等が全く成立たないのです。それといふのも奥樣が我慢して可愛がつて出さない樣になさるからで

◇全く女中さんの天下です。』とは三河が淋しくいふ所であつたが、就中中川の妻君が『ところで、私の方へ來る女中さんで米の値を知つてる者はまあ有りませんね』と云つたことは昨今の記者の耳には可成不思議な言葉であつた、そんな所にも目下の女中さん氣質が出て居ることも思つた。

◆しかし、あまりに高い米の値に、きつと其內お氣の毒な客樣は出來るでせうとは事情に通じてゐるこの人々の豫言的にいふ所でもあつた。

○白米を安値で賣捌く

米價騰貴に就き釜山大池忠助氏は一定の收入ある官公吏一團となりて申込みたる者に對し十二日より當分の內一等白米三十五錢にて分與すと又中村俊松氏は同趣旨を以て十三日午後一時より每一人に就き一斗を限り五十石而十四日午前九時より同じく五十石を一升三十錢にて市民に賣捌く可くこれが監督として府廳吏員及び警察官立會ふ事と成れりと(釜山特電)

○迷兒が多い

夏は家外で遊ぶので危險

◆每年迷兒二千人＝迷ひ兒札を附けよ

◇每日二三人の幼兒の保護をして居る

近來京城では迷ひ兒が市內各警察署に每日二三人位の幼兒が保護を受けてゐない日はない、夫れも自分の住宅や保護者の名前を知つて居る子供はサッサと警官が連れて行つて居るが中には三四歲位の幼兒で四日間も保護を加へて各派出所の巡査が其の保護者を搜してゐるが一向に保護者の出て來ない朝鮮人もある、現在の

◇愛兒が何日間でも　◇行方が判らぬながら夫れを搜しもせず警察署へ搜索の依賴もせぬなどいふ呑氣者は大抵朝鮮人側に多く警察官署でも迷ひ兒の仕末には全く持て餘してゐる、冬の頃は寒いものだから家の中で遊んでゐるが昨今のやうに暑いと小兒も家の外で遊んでゐる內に連れがあると思はず遠方に出てツイ歸り道が判らなくなつたり或は家人や附近の者に伴れられて買物などに出た時

◇雜沓に紛れて獨り　◇ポッチに取り殘されて迷ふものなどが多く、夫れも無事で居れば未だしもだが子供は獨りになると狼狽して、泣き叫びながら街路を迂路つき廻るもので自動車、自轉車、馬車等に觸れて怪我することもあり、家人が血眼になつて搜し出した時には負傷して子供を警察の手で病院に連れて行つて手當てを加へてゐるなどいふ實例が幾らもあつた、爲めに警察官憲では

◇一人の迷ひ兒の爲め　◇に各派出所に手配するやら保護するやらで非常な手數がかゝつてゐる、元來六歲未滿の幼兒は單獨行動を許さず幼兒を迷ひ兒にした保護者は罰せらるゝ規定もあるが、警察では罰するよりも迷ひ兒を未然に防ぐ爲めに過般同各派出所に命令して六歲未滿の小兒には名札を附けさせる樣各保護者に勸めてゐる、其の

◇名札には父兄の住　◇所氏名と本人の氏名年齡を記し札は成るべく壞れない板札や金屬板が適當で其の札を袋に入れ子供の腰に結び附けて置くことである、試みに本町警察署管內に於ける迷ひ兒の數を聞くに大正五年度は內地人九百七十一名朝鮮人一千十名外國人十八名であつたが大正六年度は

◇內地人八百二十一名
◇朝鮮人一千二十一名

外國人二十七名であつた、今年は七月末迄の現在で內地人が四百十五名朝鮮人五百八十四名外國人が七名となつてゐる、大體に於て每年二千名の迷ひ兒を取扱つてゐるが鍾路警察署管內でも同樣每年二千名內外を取扱つてゐる

○氣配弱き　釜山期米市場

釜山十二日期米市場は氣配弱く買手無し安物三十五圓白米小賣値段は一升四十八錢に値下せり大阪米商藤本松太郞足立徳二郞兩氏は十二日朝來釜せるが不日仁川に赴く筈時節柄注意を惹き居れり(釜山特電)

讀者文藝(一等には五十錢の書籍券を呈す)

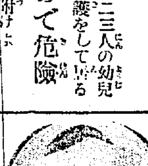
▲一口噺『時事』

◎讀者『對米政策も愈確定したな』早合點『ハヽア餘程巧妙な米價調節策を案出したんだな』(一等)　西鮮　奇峰生

▲讀者『七十既の月給取る女中を募集してるそうだ』與太『そんな女中には金箔の服を着せるんだらう』　義州松月

▲新町の心中記事を見た甚六『こんなに氣が合へば死なないでもよささうなものだ』　京城　茂呂

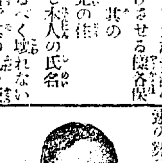
鼻が高くなる　隆鼻器無料貸與



鼻は人生の花で最も大切な物で幸と不幸の分れ道は實に鼻の格好一つである青年男女の內で▲獅子鼻▲だんご鼻▲わし鼻▲裏大鼻▲其他鼻の格好の惡しき人は本法は藥試の注射や隆鼻術でなく自宅で人知れぬ間に高くなるにても見違へる程立派に鼻の格好がよくなる新案專許の隆鼻器を希望者に無料で貸與す郵券二錢封入申込ば案內書進呈す　東京神田猿樂町一の二　東京隆鼻器械製作所

◎毒瓦斯より恐ろしきわきが

歐洲戰爭で毒瓦斯を以て人を殺して居るは皆さんの知る所恐ろしき事實であるが毒瓦斯以上人のいやがるはわきがの惡臭である[illegible]我國は意外なる[illegible]療法が急速の勢ひを以て進步して居るが未だ此最も人の嫌ふわきがを全治する藥物療法は[illegible]ない



る不幸に泣く人を如何にして救濟すべきやと種々研究の結果今回[illegible]諸五百人限り全治せし人の實驗[illegible]效藥品を提供す希望者は二錢郵券十枚又は三錢郵券七枚封入申込は人知れず郵送す　東京神田[illegible]內外[illegible]物療法研究所

文武官刀劍新調
並に修理研白鞘造　金銀メッキ金具一切專門
京城大和町一丁目(東洋教會前)　中村刀劍店

京日案內
普通一回前金(滿名一回拾七拾錢番外一回前金一圓(二十字詰))

番外　岡崎町停留場前　藥湯

代診募集　局生見習看護婦至急採用す　平壤京町道廳前　齊藤病院

番外　手輕な料理出來ます　尾崎　藥湯

女子原簿助手
採用　身體强健中等教育ある者履歷書携帶至急來談あれ　南大門通　丁子屋洋服店

發動機
四馬力英國製使用中のもの附屬品付讓る希望者は御照會あれ　仁川新町　美濃谷商店

ほねつぎ(うちみくじき)　一切の治療御依賴に應ず　明治町　柔術道場

恩給年金立替
長期短期利息低金地方は規定書送附す電話二〇二一　京城若草町郵便ポスト前入　西村商會

店員入用
二十一歲以上三十歲迄一名運送業に經驗あらば幸甚(姓名仁川支局)

暑中御見舞

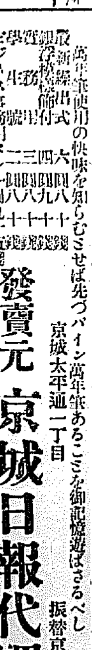
中川旅館從來營業所

中川旅館新營業所

從來營業罷在候中川旅館の敷地家屋全部を小生讓り受け更らに手狹に付向ふ側なる元漢城銀行大田支店跡を改築し淸潔なる客室十數間を增設致し中川旅館の名義を繼承の上親切丁寧を旨とし精々勉强仕り候間引き續き御枉駕被成下度此段暑中御見舞を兼ね得貴意候　敬具

大田本町一丁目　中川旅館　營業主　吉木文治
長電話二二二番電略(ヨシ)又ハ(ナ)

吹きパイン萬年筆



商品を聽するにこの邊まで誇張を要すかパイン萬年筆に就ては一語の誇張を要せず萬年筆として備ふべ一切の効能と特徴とを遺憾なく發揮して品物夫自身が自ら其眞價を語るべし

萬年筆使用の快味を知らむとせば先づパイン萬年筆あることを御記憶遊ばさるべし

最新案鍍金付式　六四圓八十錢
銀鍍金付式　四圓九十錢
學生用號　三圓八十錢
事務用　二圓八十錢
ビジネス用ペン　一圓九十五錢

發賣元　京城太平通一丁目　京城日報代理部　振替京城三〇〇番

胃腸新藥

藥効　工場

高峰博士發見の本品は本邦人に最も多數を占むる澱粉不消化に因する胃腸障害に必要缺くべからざる新藥として多數の醫學者臨床家に依り確認賞用せられつゝあり。

タカヂアスターゼ

本劑は從來米國にて製造したるものを輸入せしも前年より本會社品川工場にて製造し純國產品となれり。類似模造品は時日經過と共に効力減却するを普通とす、我タカヂアスターゼは効力永久不變なり。

內外醫學者の實驗報告書無代贈呈す

東京室町　三共株式會社

金銀賞牌廿四個受領

タトへ億万長者でも健康は絕對に金では買へぬ

只每食前一杯づゝの美味滋養

蜂印香竄葡萄酒は

メキ〳〵元氣健康を增進す

味つて見て下さい　美味＝滋養＝濃厚　全く他品に卓越す

東京本町　近藤利兵衛

妻の心（六十四）

十の三　小林蹴月作　武内桂舟畫

『それはそれは』嘸かしお困りで御座いましたらうが、何事も情願妾に免じて恕へて頂きたう御座います。そして若龍さん、その結末は如何なつたんで御座いませう。』と、禮子は心配さうに尖つた眼を瞬つて、枕の上に片手を凭せながら問ひ返した。

『……結末と申しました所で、右や左と申せば、直に察厳をお捻くりになりますし、肝腎の主婦がもう町川さんの方へ加擔して居るんで御座いますから、なかなか妾の申す事なんかは耳へもお掛けなさらないんです。仕方が御座いませんので、妾、嘘病を使つて突ッ伏してすひましたので御座いますけれども、町川さんは飽まで男の一分を貫くんだと被仰つて無理往生に妾を連れて、外へ出ようと遊ばすんです。愈々妾も切迫詰まりましたから……それ程に貴郎が妾風情を思召して下さいますなら、天座にも森ヶ崎でのお約束通り、貴郎の妾になります代り、此の事に就ては、貴郎の奥様と秘密のお約束があるんですから、一應奥様にお目に寛つて立派に御承諾を經た上、如何樣にでも致しますから、一日二日の御猶豫を頂かして下さいまし……と、斯樣に申しましたんで御座います。致しますと、町川さんは、――その云ひ草が第一氣に喰はない。既に町川家を放逐せられて來た乃公に奥様だの女房だのがあるべき道理がないから、そんな事は承知ならんが、一身上の都合で、強て一日二日の猶豫が欲しくば、決して變更せぬと云ふ誓約證を認めて、それにお前と此家の主婦とが連名の血判を爲よ――と、斯う彼仰るんで御座います。奥様、貴女に對しては、先夜のお約束を反古にして致しますやうで、何とも濟まぬ事とは存じましたが、到頭血判の證文を差出しまして、三日間の御猶豫を頂きましたが……その三日目が即ち今晩に迫つて參りましたので、實は貴女にも一應お目に寛かつて、此のお話を致しましたら、何とか好いお智慧を貸して頂く事が出來ようかと存じましたが……地獄まあ奥様、町川さんの御精神が什うか遊ばしてお在るんでは御座いませんでせうか?』と、若龍は眞個自分の都合不都合よりも、禮子の現在が氣の毒さに、包まず裏面の事情を打明けて云ふのである。

禮子は、又その親切を嬉しく思ふと同時に、斯うした稼業の女には珍らしい義氣に富んだ遣り口であると感じた。と云へ、此の若龍の物語りに依つて見ても、想像の外なる良人の墮落的行爲には、ほとほと口も利き得られないほど惘れ果てゝには居られないのである。成程阿母さまが、町川家の財産を心配して、今の内に見限を付けよと云はれるのも、穴勝無理のない所であらうと氣付いた禮子は、稍少時唇を噛んで、只管思案に暮れきつて居るのであつたが、暮れきつた思案の小徑に明るい蹊み所の發見さるゝ例はなかつた。出るものは例に依つて、溜息と涙のみである。

『若龍さん、貴女なればこそ、能く其處まで剛情を張り通して下さいましたんです。云ひ出しては、何事にも肯かぬ氣の良人では御座いますが、別けても只今の諸難問題には、彼の櫻井の醜さんへの意地張も大きにある事には違ひ御座いませんけれども、それよりも第一先の理由を申しましたら、恐皆妾への面當なんで御座います。そして、妾から思ひきつて愛憎を盡かさせようと云ふのに違ひ御座いません。その事は妾も能く承知して居るんですが、併し、若龍さん良人がそれ程までに、貴女の事を思ひ込んで居りますのが眞實なら貴女、妾への義理立などは一切お止しになつて、兎も角一日は良人の云ふなりになつて遣つては下さらないでせうか……それやまあ貴女の方にも、先夜のお話のやうな櫻井さんとの經緯も御座いませうし、他にも種々の都合がお有りでせうけれども、改めて禮子から折入つてお願ひ致したいのは、此の事なんで御座います。』と、禮子は、思ひ入つて聲を顫はせながら懇請むのである。

恐ろしい蛔蟲

★食事前に小兒の手を洗ふ事

蛔蟲に就ての發見　乳飲み兒が癇を起して激しく泣き出しますと母親達は一般に『蟲』と言つてゐますが、實は蛔蟲のことで、その蛔蟲に就いて醫學上最近驚くべき發見がありました。それは蛔蟲の幼蟲が一度

★口中に　這入ると肺臟も肝臟も食ひ破つて再び咽喉に歸つて來て腸に歸り其處で繁殖するさうですから恐ろしい蛔蟲を如何に豫防したらよいかに就いて東大醫科大學病院の醫學博士鶴谷不二雄氏にお訊ねしますとかく語られました『從來蛔蟲は口から直接胃腸に這入て其處で繁殖するものと醫學上一般に思はれてゐましたが上海の米人醫師スチュワー氏及大阪醫科大學の吉田氏等が前後して全く違つた說を立てました。――一體

★蛔蟲は　昔から誰にでも知られてゐることで古くは希臘全盛時代から既に記錄にある位ですそれを最近まで幼蟲が胃腸で生成するやうに思はれてゐたのですが、それは全く反對でありまして胃腸に一度這入つた幼蟲が胃壁を破つて四五日たつと肝臟に行き、横隔膜肺臟を破つて氣道を通り喉頭咽頭に來て食道、胃を通つて母蟲となるのです、その間幼蟲がしきりに成長して

★咽喉に　來たときにはもう二寸位になつてゐます蛔蟲は温帶地方に多くゐて、多いときには四五百匹も塊になつて人體にゐます。又同蟲は人體中何處でも通るので先日大學病院で鼻から出て來たことがあります。又口耳から出た例もあります蛔蟲の人體に及ぼす徵候は嘔吐を催したくなり腹痛が來たり、腸壞炎、腹膜炎、喘痛等を起します。この蛔蟲の幼蟲は〇、〇五ミリメータ位で糞便に混つて地上に分布されます。それで

★肥料の　かゝる野菜、田畑の溝又は便所に近い井戸水等に住んでゐます。夫ですから成るべく生水を飲まないやうにし、野菜も水道水で洗ひ出來るならば煮た方がよいと思ひます。又東京の人は一體に漬物の生漬を好きますが、菜の生漬は殊に危險です又便所に近い濕氣のある土を子供に弄らせないやうにしないこと、それから幼蟲が口中に這入ることが多いのですから一體子供に食事前に手を洗はせることが必要です。殊に注意すべきは西洋料理のサラダや蕪でこれも幼蟲が附着してゐる危險があります』（東京）

日報歌壇

檟一郎

夕燒の雲に

執着野の黄がくれかたみ蹲居してかやりをたきし父のおもはゆ　京城　すゞらん

夕されば縁の柱にわかませて淋しく街かやりたきてうす紫の煙にもちゝのみちゝの思ほかるかも

○　京城　みよし

故郷のもちくばる手ふり日に見ゆて昔の灯を見入る我

○柔畑

なか思ふきびの青さや落る日の光を受けつるか露の葉蔭に我は寂しき

猶ふきて淋びし頃も柔畑にきびを祈りたり今も折りつゝ

若は思ふ四國遍路か餅ならし玉蜀黍畑を長く行く道な　高き波

黄四國の哀もあこしのざわくと高き波うつ頭となるらん

△初秋の歌の募。

日報俳壇

■山城吟社詠草（忠南公州）

目張して新茶の甕や晏如たり　さだ女

傘傘と摺れ合ふ稲や杜若　同

遠雷や竹割る人に迫る雲　同

綠陰の山庵閑かに新茶かな　空堂

新茶利く脩竹に茶釜かな　同

新茶利く樹立透て母屋の灯　同

樓よりす雨後の巷や初鰹　末刀

遠雷の過ぎて穗麥の戰ぎかな　同

酒樓皆上に橋あり初鰹　奇石

遠雷に草食む牛の瞳哉　同

醉底の酒に木の香や初鰹　方外

水で捏ねる白き陶土や杜若　同

遠雷や麥刈る丘の夕嵐　鶉城

盃に媚ぶる灯影や初鰹　鮑石

鑑卸して酌める人數や初鰹　不醉

朝に活けて清々しさよ杜若　光菁

冠拜けて心伸びたる新茶かな　子待

御寺から新茶の包み屆きけり　桂川

水の限りに東岸見ゆれ杜若　孤山

菖蒲湯の水を湯ぎ込む日かな　宵夢

根殺垣の外入海や初鰹　一佛

丘の起伏に蜂の夕陽やはたゝ神　士賦

■橫瀬靜山君送別俳筵

京城日報安東縣支社長に榮轉したる靜山橫瀬氏の爲め大田湖南吟社員一同は八月八日午後二時より『湖月』に於て送別句會を開催せり會する者總て十五名中庭の松、楓より吹きくる涼風に苦著を吸り新築の浴槽に入りて流汗を洗ひ浴衣掛けにて『裸』『青田』の二題に吟腹を恣にし例により桃雨氏に淨書を煩はし互選終へ下頭開宴、軒の岐阜提燈に灯入りて涼味更らに新らたなり賤女、淡水二兄の交々の吟聲に青兒君の探點にて一張一弛雅心を喚ろしめあり短冊、扇子、畫仙紙には靜山君得意の呵成的運筆にて留別吟なるものすること夥しく吟社員又も送別句を寄書して同君に贈りぬ夜十一時半散會

課題　吟壇　桃雨

内地の流行風數や青田越し

船頭の丼を離るゝ裸かな　同

黄昏や衣著せば逃げる裸の子　雅溪

炎わとな蝿うるさき裸哉　歌女

朝夾や男ばかりの裸なる　静山

提こみて神の灯ともす裸哉　同

星かたよりに融む門礼や青田夕　中京

動員令青田の村に下り給　月波

饑食する十八貫の裸かな　同

青田涼しく虫寄せ灯青う見ゆ　松年

峽を出て開つ青田や流若し　淡水

青田搦げて海となる入日帆々とあり　十草

庭木深う裸に月や根なし草　同

青田風宿の浴衣の短かさよ　不倒

宿替に浴衣不足な裸哉　同

蜂越す又段々の青田哉　田月

土藏の夕陽赤う青田照り返す　青児

心易きに隣から來る裸哉　綾松

木に垂れて弄ぶ足や裸人　同

裸馬に裸の人や牧場風　發空

暮れば雨の山本里や遠青田　風骨

篠隱くれの灯まじろく裸人酌めり　同

讀者の領分

▲私は高等女學校で齋藤先生の『兒童保護の話』といふ講演を承りましたが我々人の母たる可きものは非常に有益と思ひました朝刊を拜見しますと赤根谷先生の誰だて話さず讀みなさる樣に世の育兒の責ある方にお勸め致します（人の母）▲今度農商務省で僅々米の專賣制度を行する由多少の困難が排して是非行して貰ひたい我が國の樣に人口は殖す割りの國では時節柄米が不足すること明であるし大戰を眼前に控へて居る今日故に歐米諸國に倣ひて萬一の場合に備ふると米の專賣は必要と思ひます（吉野山人）▲コー毎日々々米價が天井知らずに上つては我々薄給者は何うか生活法を一變せねばなりませんそこで二三日前の紙上で拜見致しました安價で滋養に富む豆粕飯を早速實驗したいと思ひますが販賣店が分りませんから御存じの方は紙上で御知せ下さい（御待生）▲同情生に告ぐ私は知人の病床のお慰めんが爲め藥や折を携へて南大門驛前で下車したとき急いだので忘れたのでした致し方もないので岡崎町分岐點の電車監督に頼んで置き臨路九時頃た今日の京城日報により同情生の御親切を知り深く感謝致します横濱なのは寺にも手に入るか出來たのでしす半分許頂戴して居りましたこゝに電車係の者です藥十折を受取つて見ま情生に感謝すると共に京城日報社の芳子者に注意を致します（感謝生）▲昨夜若草町の薄暗き處で中學生風の青年と某校四年の女學生と語合ひ睦びかけたにタークを渡して居たがこれからあゝいふことすると先生に投書しますよ（テイワイ生）▲總則も目前に近きました何卒議院諸君にても猛暑酷暑の瓦斯卵折剤師より下さる御方は御座いませんか（愛讀家）

新刊紹介（到着順）

▲大邱商業會議所報（七號）　大邱商業會議所發行

▲世界お伽噺（巖谷小波編）　小波氏の世界お伽噺百篇を精選改訂して携帶に最も便なる樣、袖珍合本したるもので狐の裁判（上下）二人王子、七人兄弟、光明姫、常長征伐、瞎特鳥、岩戸破、猫見小僧、白い鳥、三つの難題、獨都大臣、消炭太郎、大洪水、刀三本、石の行方、裏の股旅、鶏の法王の目次あり各卷插繪を挿みたる美本たり洋裝五百頁一圓四十錢（東京本郷文館）

▲中外新論（八月號）　カイゼルの環境と思想（坂口博士）全面新聞主義の實行期（佐藤中將）露の革命と自由主義（米田京大講師）其外世界人物『古人今人』『當世綺物語』寸付の娘、獨身の悲哀、と樂小説成金王一夫人の死等（三十錢東京芝愛宕下町二の二五社）

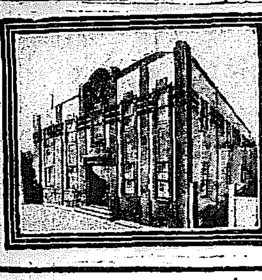
牛乳　京城病院　陸軍病院　ホテル　御用　岡野牧場　京城東四軒町　電話一〇六九番

○支那豚毛状況

歐洲に於ける豚毛の主要地は支那なるも剛毛を司とするも此種のもの破損除用のものは芬蘭、露の強制（？）獨逸及び白耳義、英、芬の產額減退したる爲め支那豚毛の需要は少からず喚起され[illegible]

長江一帶	二〇〇〇〇
北支那及滿洲	三〇〇〇〇
廣東地方	[illegible]
計	七〇〇〇〇

◎課題募集規定　▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に[illegible]



▲光榮ある白色美顔水を創製したる

桃谷研究試驗所

所長　藥學士　桃谷幹次郎
技師　理學士　西澤勇志智
同　醫學士　米倉昌達
同　藥學士　小磯勝次郎
同　藥學士　齋藤鋭助
顧問　藥學博士　丹波敬三氏
同　醫學博士　山本淳一氏

人氣ますます盛なる

白色美顔水

現今の御婦人全體の要求にぴつたり適つた新化粧料

▲實に意外な　評があります。皆樣はよく、少しも態とらしい所が無く極く自然にスッキリと氣持のよいお化粧顔の方を御見かけに成ませう。而て餘程お化粧上手の方が、何か特別の

▲秘密な方法　に依らないでは彼あは行かぬとお思に成ませう。所が案外にもあのお化粧が今では實に努なく出來る時代となつて居りますのです。あれは光榮ある桃谷研究試驗所創製

▲學者の研究　で世に現れてから、全く然ういふ心配が無くなつたので、婦人方の滿足此上なく、忽ち大變な歡迎を受け、今ますます流行となつて居るのですが、では白色美顔水とは

▲どんなもの　かと言ひますと、普通の水へ白粉を溶込んだ樣な品で無く、桃谷研究試驗所で新に發見した美容成分と或特種の白粉を元にしてありますので、第一被覆力が強い爲附て

▲斑にならず　生れつき色が白い樣な白さに附き第二に白粉の原料に殊に光澤のよいものを撰んであるので其白さに如何にも活々した艶が添ひ、第三に前に申しました新しい美容成分の

▲新しい作用　から化粧の一時的の美しさばかりで無く、常用するうち生地から皮膚を艶麗にし素顔の美を增す特色が有ります。化粧を一層自然に態とらしくなく而て美術的にと言ふ

▲三十六種の　高貴御用品の内の一種として、今大變な人氣になつてゐる白色美顔水でお化粧なさつたのです。實際此品でお化粧すれば、勞なく、見事に、丁度生れつきで色白の方の

▲自然の儘の　色の白さ、美しさ……、あゝ言つた美しさを、極く美術的に、それでゐて少しも態とらしくなく發揮す樣に成つてゐるから妙です。

▲婦人の苦痛　一體從來お化粧と言ふものは概してその種になつて居たもので、兎角不自然で白ペンキの樣に白かつたり何となく蒼黒かつたり、斑だつたりして、何うも充分綺麗に行かなかつたものですが、白色美

▲近來の婦人　方全體の御希望は、始めて白色美顔水で滿されたのであります。斯ういふ完全な化粧料ですから、白色美顔水は高貴の方々の御間にも始終御愛用を辱して居ますのです

朝鮮總督府編纂

朝鮮大地圖

▲八十萬分ノ一縮圖　▲縱四尺五寸横二尺五寸　▲折圖定價二圓五十錢　▲軸製定價三圓五十錢　▲折圖送料十二錢　▲軸製送料要實費

本圖は總督府土木課の編纂に係り其正確なるは言を俟たず其最も特色とする處は道路にあり、即ち鐵道、一、二、三等道路を既成未成に別ちて最も詳細を極めたり、又諸官廳所在地の正確なるは其特色とす。

發賣所　京城太平通二丁目　振替京城三〇〇番　電話長六〇〇九番　構内十八番　京城日報社代理部

阿波共同汽船仁川出帆

大連直行（關東都督府命令船）　共同丸　八月十六日前入港　八月十七日後出帆

朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡取扱　大連にて青島行聯絡

阿波共同汽船株式會社　仁川代理店　本町四丁目（電話一七三番）野口商會　元山代理店　仲町（電話二四七番）田口回漕部　南大門（電話二七六〇、八二二）　京城取次店　河村運送店

日本郵船仁川出帆　◎大連、天津牛莊行　相模丸　八月十八日

✕酒田丸　八月八日　船客御斷　高砂丸　八月廿八日　仁川海岸町一丁目（電話十番）堀回漕部

釜山出帆廣告

汽船　◎元山、西湖、新浦、城津、清津行　第三琴平丸　七月　日後四時出　◎門司、宇品、神戸、大阪行　第三琴平丸　七月　日後四時出　◎佐須奈、嚴原、博多行　天眞丸　七月四日午後十時出　釜山港埋立新町本船取扱店　大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆　群山、木浦、釜山、下關、大阪行

第一大湖丸　八月十日後四時出　第二大湖丸　八月十九日後四時出　君が代丸　八月八日後四時出　大有丸　八月十四日後四時出　仁川海岸通一丁目（電話五九番）高杉回漕部

◎双眼鏡◎

◎十五形　六枚玉　十二圓　◎十三形　六枚玉　十一圓　送料鮮内十二錢　外三十錢

右御少付至急御下命願上候　京城太平通　電話構內一八番　京城日報社代理部